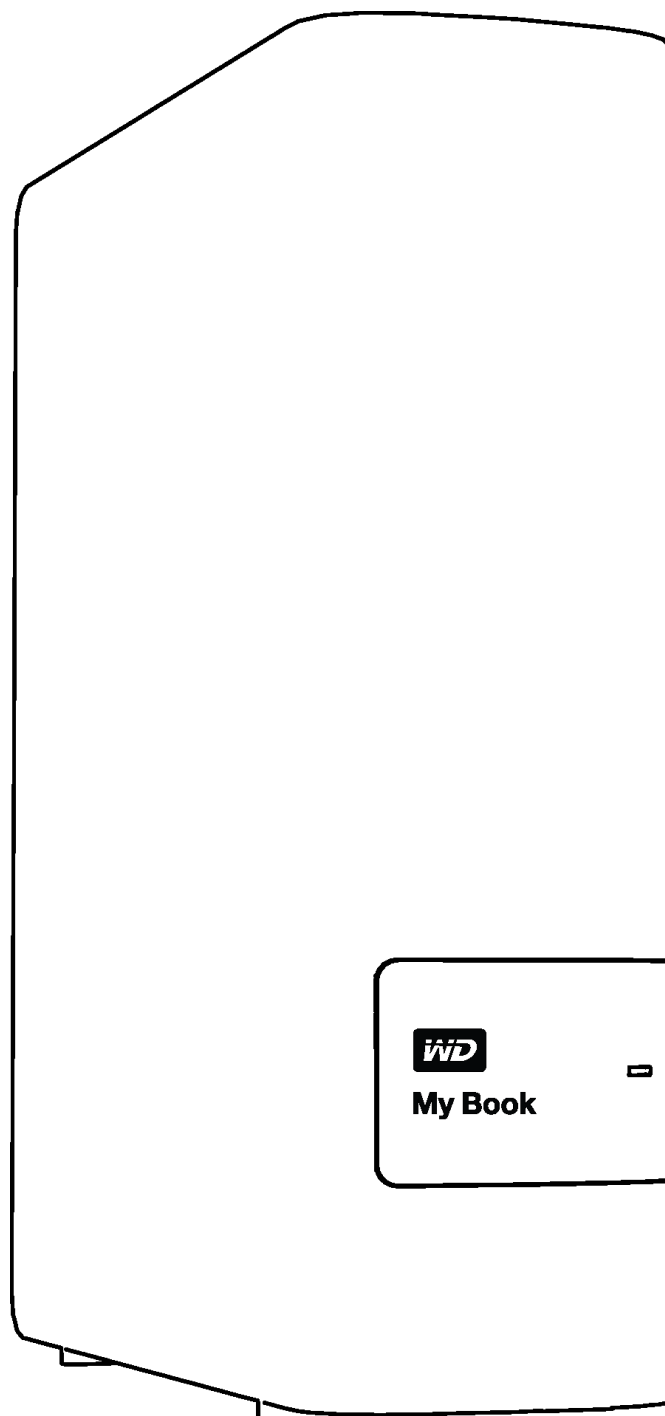


My Book[®]

ユーザーマニュアル



WD サービスとサポート

万が一製品に問題が発生した場合は、返品される前に弊社までお問い合わせをお願い致します。テクニカルサポートに関するご質問の多くは弊社のナレッジベースまたはメールでのサポートサービス (<http://support.wd.com>) でお答えすることができます。回答が得られない場合、またご希望によっては、下記の電話番号にて弊社までお問い合わせください。

お客様の製品には、保証期間中、30 日の無料の電話サポートが含まれています。この 30 日間は弊社のテクニカルサポートに最初にお電話された日付から始まります。メールによるサポートは保証期間中無料です。また、弊社のナレッジベースは年中無休でご利用いただけます。お客様に最新の機能とサービスを提供できますよう、<http://register.wd.com> よりオンライン製品登録をお願い致します。

オンラインサポートへのアクセス

製品サポートウェブサイト <http://support.wd.com> へアクセスし、次のトピックから選択してください。

- **ダウンロード** – お使いの WD 製品のドライバ、ソフトウェア、および更新をダウンロードすることができます。
- **登録** – 最新のアップデートおよび特別な提供を入手されるためにお使いの WD 製品を登録してください。
- **保証および RMA サービス** – 保証、製品交換 (RMA)、RMA ステータス、および日付取得情報を確認することができます。
- **ナレッジベース** – キーワード、フレーズ、または回答 ID で検索することができます。
- **インストール** – WD 製品やソフトウェアのオンラインインストールヘルプを確認することができます。
- **WD コミュニティ** – 他の WD ユーザーと自分の意見を交換することができます。

WD テクニカルサポートの連絡先

WD テクニカルサポートへのお問い合わせの際には、WD 製品のシリアル番号、ご使用のハードウェア、および OS のバージョンをお尋ねいたしますのであらかじめご確認ください。

北米		ヨーロッパ (通信料無料) * 00800 ASK4 WDEU	
英語	800.ASK.4WDC (800.275.4932)	ヨーロッパ	(00800 27549338)
スペイン	800.832.4778	中東	+31 880062100
メキシコ	001 8002754932	アフリカ	+31 880062100
		ロシア	+31 880062100
			8 10 8002 335 5011
南米		アジア太平洋	
チリ	1230 020 5871	オーストラリア	1800 42 9861 / +800 2275 4932
コロンビア	009 800 83247788	中国	800 820 6682
ベネズエラ	0800 100 2855	香港	+800 6008 6008
ペルー	0800 54003	インド	1800 419 5591 / 1800 200 5789
ウルグアイ	000 413 598 3787	インドネシア	+803 852 9439
アルゼンチン	0800 4440839	日本	00531 65 0442 / 0120 994 120
ブラジル	0800 7704932	韓国	02 703 6550
	0021 800 83247788	マレーシア	1800 88 1908 / +800 6008 6008 (Telekom Malaysia)
		ニュージーランド	0508 555 639 / +800 2275 4932
		フィリピン	1 800 1441 0159
		シンガポール	1800 608 6008 / +800 6008 6008 (Singtel)
		台湾	0800 666 290 / +800 6008 6008 (Chunghwa)
		タイ	001 800 441 0570

* 通信料無料番号は以下の国で利用可能です。オーストリア、ベルギー、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、スペイン、スウェーデン、スイス、英国。

目次

WD サービスとサポート	ii
オンラインサポートへのアクセス	ii
WD テクニカルサポートの連絡先	ii
1 本製品について	1
特徴	1
パッケージ同梱物	2
オプションのアクセサリ	3
OS 互換性	3
ディスクドライブのフォーマット	3
各部の名称と説明	4
電源 / アクティビティ LED	4
USB 3.0 インターフェース	4
Kensington® セキュリティ スロット	4
ユーザー登録	5
取り扱い上の注意	5
2 ドライブの接続と使用開始	6
ドライブの接続	6
WD ソフトウェアを使い始める	7
3 WD SmartWare ソフトウェア機能 概要	18
[ホーム] タブ画面	19
[バックアップ] タブ画面	27
[復元] タブ画面	30
[設定] 画面	32
[ヘルプ] タブ画面	33
4 ファイルのバックアップ	35
バックアップ機能のしくみ	35
ファイルのバックアップ	35
5 トラブルシューティング	45
ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット	45
よくある質問	45
6 ファイルの復元	47
復元機能のしくみ	47
ファイルの復元	47

7	ドライブのロックとロックの解除	52
	パスワードによるドライブの保護	52
	ドライブのロック解除	53
	WD セキュリティまたは WD ドライブユーティリティでドライブのロックを解除する	54
	WD SmartWare ソフトウェアを使用してドライブのロックを解除します。	55
	WD Drive Unlock Utility でドライブを解除	56
	パスワードの変更	57
	ドライブのロック機能の無効化	58
8	ドライブの管理とカスタマイズ	59
	WD Quick View アイコンの使用	59
	WD SmartWare を起動する	59
	ドライブステータスのチェック	60
	ドライブの安全な接続解除	60
	アイコンアラートの監視	60
	ドライブのスリープタイマーの設定	61
	ドライブのユーザー登録	61
	ドライブの健全性チェック	62
	ドライブの消去	64
	ドライブ消去機能を使用する	64
	WD Drive Unlock Utility を使用する	65
	WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元	67
9	ソフトウェアの管理とカスタマイズ	68
	バックアップ バージョンの数を指定	68
	別の復元コンテンツフォルダを指定する	68
	ソフトウェアの更新のチェック	69
	DropBox アカウントの設定	69
	WD ソフトウェアのアンインストール	71
	Windows XP でアンインストール	71
	Windows Vista または Windows 7 でアンインストール	71
	Windows 8 でアンインストール	72
10	Mac でドライブを使用する	73
	ドライブの再フォーマット	73
	WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元	73
A	SES ドライバのインストール	74
	Windows XP コンピュータにインストールする	74
	ドライバを自動的にインストール	74
	ドライバを手動でインストール	76
	Windows Vista にインストールする	78
	ドライバを自動的にインストール	78
	ドライバを手動でインストール	80
	Windows 7 と Windows 8 コンピュータにインストール	82

B	遵守および保証情報	84
	規制遵守.....	84
	FCC クラス B 情報.....	84
	ICES-003/NMB-003 宣言.....	84
	安全準拠.....	84
	ヨーロッパ CE 遵守.....	85
	KC 告知（韓国のみ）.....	85
	環境基準の遵守（中国）.....	85
	保証情報（オーストラリア / ニュージーランドを除くすべての地域に適用）.....	85
	サービスを受けるには	85
	限定保証.....	86
	保証情報（オーストラリア / ニュージーランドのみに適用）.....	86
	サービスを受けるには	87
	製品保証.....	87
	GNU 一般公衆利用許諾契約書（GPL）.....	88
	索引.....	89

1

本製品について

My Book® デスクトップハードディスクドライブで大切なデータを保存・保護しましょう。この USB 3.0 ドライブは、最速のデータ転送レートを可能にするために最適化されており、ファイルを完璧に保護する機能を備えています。WD SmartWare™ Pro 自動バックアップソフトウェアが、大切なデータを保護します。Acronis® True Image (ATI) WD Edition ソフトウェアにより、徹底したシステムバックアップが実現します。ハードウェア暗号化機能およびパスワード認証機能で、個人ファイルのプライバシーをきちんと保護します。

この章では、以下のトピックについて説明します。

特徴
パッケージ同梱物
オプションのアクセサリ
OS 互換性
ディスクドライブのフォーマット
各部の名称と説明
ユーザー登録
取り扱い上の注意

特徴

My Book デスクトップストレージで大切なデータを保護。本製品は、超高速 USB 3.0 に対応、パスワード認証機能を搭載。WD SmartWare Pro バックアップソフトウェア、およびシステムを丸ごとバックアップする Acronis True Image ソフトウェアを搭載。

超高速な転送レート – My Book デスクトップストレージは、最速のデータ転送レートを可能にするために最適化されています。このドライブを SuperSpeed USB 3.0 ポートに接続すると、ファイルへのアクセスと保存が記録的な速さで行われます。

大容量 – 大切なデータや重要なファイルを保存・保護。最大 4TB の大容量。

自動バックアップソフトウェア – WD SmartWare Pro 自動バックアップソフトウェアは、バックグラウンドで静かに動作し、最小の PC リソースを使用してデータを保護します。ファルを直ちにバックアップするには、自動継続バックアップを選択します。または、定期バックアップのオプションを選択すれば、ユーザースケジュールに合わせて思いどおりにファイルをバックアップできます。

ローカルとクラウドのバックアップ – WD SmartWare Pro ではどちらも選択できます。My Book ドライブにファイルをバックアップするか、Dropbox™ アカウントを使用してファイルをクラウドにバックアップします。(クラウドへのバックアップには、Dropbox アカウントが必要です。クラウドサービスは、国により、いつでも、変更、終了、または中断される場合があります。)

システムレベルのバックアップ – Acronis True Image (ATI) WD Edition は、システムを丸ごとバックアップ。システムの復元が必要な場合でもすぐに対応可能。

- ATI WD Edition ソフトウェアのダウンロード：<http://products.wd.com/wdacronis>
- ATI WD Edition ユーザーガイドのダウンロード：
<http://products.wd.com/wdacronis/um>

優れたファイルアクセス – WD の Windows® 8 の無料アプリにより、My Book ドライブに保存した写真、ビデオ、音楽などのライブラリを、Windows 8 コンピューターを使用して、簡単に見つけ出し、整理し、楽しむことができます。Windows Store から無料でダウンロードできます。

USB 3.0 と USB 2.0 に両対応 – このドライブは最新の USB 3.0 デバイスに接続できるだけでなく、USB 2.0 デバイスとの下位互換性も保証されています。

プライバシーのためのパスワード保護 – お客様のデータはパスワード保護と暗号化を使って不正アクセスから保護されています。ご安心ください。

あらゆる所に WD の高い品質 – 20 年以上に渡り、世界中の数百万人の人が WD 製ハードディスクドライブにデータを託してきました。当社はお客様のデータの重要性を理解し、データの安全性に重点を置いていることから、その成功を得ています。

重要：最新の WD 製品情報とニュースについては、弊社のウェブサイト <http://www.westerndigital.com> をご覧ください。最新のソフトウェア、ファームウェア、および製品ドキュメントと情報については、<http://support.wd.com/downloads> を参照してください。

Acronis True Image (ATI) WD Edition のソフトウェアとユーザーガイドのダウンロードは、以下にアクセス：

- ATI WD Edition ソフトウェアのダウンロード：<http://products.wd.com/wdacronis>
- ATI WD Edition ユーザーガイドのダウンロード：
<http://products.wd.com/wdacronis/um>

パッケージ同梱物

図 1 に示すように、My Book ドライブキットには以下が含まれています。

- My Book 本体（ドライブ内に WD SmartWare Pro、WD Drive Utilities、WD Security のお空くソフトウェアのインストーラーを搭載）
- USB 3.0 ケーブル
- AC アダプタ
- クイック インストール ガイド

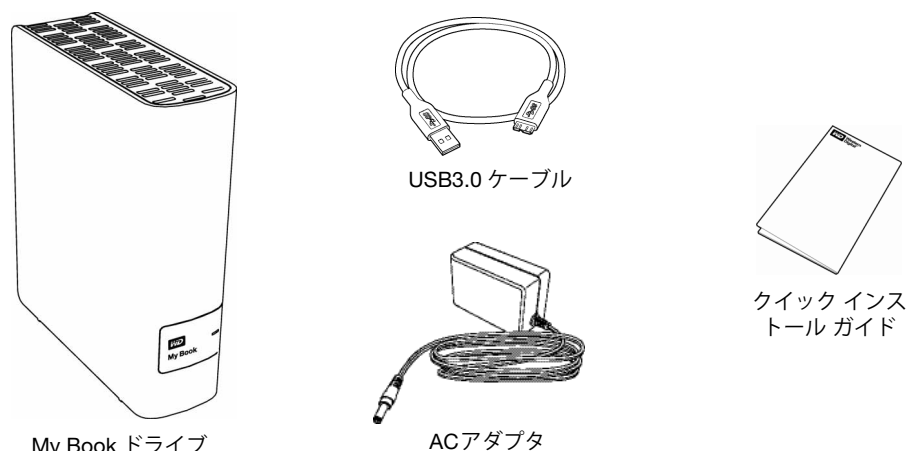


図 1 My Book ドライブキットコンポーネント

オプションのアクセサリ

WD 製品のオプションアクセサリについての詳細は、以下をご覧ください。

米国	http://www.shopwd.com または http://www.wdstore.com
カナダ	http://www.shopwd.ca または http://www.wdstore.ca
ヨーロッパ	http://www.shopwd.eu または http://www.wdstore.eu
その他の国	各地域の WD テクニカルサポートにお問い合わせください。テクニカルサポートの連絡先のリストは、 http://support.wd.com にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID 1048 でご覧いただけます。

OS 互換性

My Book ドライブ、WD Drive Utilities、および WD Security ソフトウェアは、次のオペレーティングシステムと互換性があります。

Windows

- Windows XP
- Windows Vista®
- Windows 7
- Windows 8

Mac OS X

- Leopard
- Snow Leopard
- Lion
- Mountain Lion

WD SmartWare Pro ソフトウェアは、次のオペレーティングシステムと互換性があります。

Windows

- Windows XP
- Windows Vista
- Windows 7
- Windows 8

互換性は、ハードウェア構成とオペレーティングシステムにより異なる場合があります。

最高のパフォーマンスと信頼性を得るには、必ず最新のアップデートおよびサービスパック (SP) をインストールしてください。Windows コンピューターをご使用の方は、**[スタート]** メニューに進み、**[Windows Update]** を選択してください。Mac をご使用の方は、**[Apple]** メニューに進み、**[Software Update]** を選択してください。

ディスクドライブのフォーマット

My Book ドライブは、すべての更新済み Windows OS との互換性を保つために、単一の NTFS パーティションとしてフォーマットされています。このドライブ Mac で使用される場合は、「ドライブの再フォーマット」p. 73 と「トラブルシューティング」p. 45 を参照してください。

各部の名称と説明

My Book ドライブの各部の名称は p. 4 の図 2 のとおりです。

- 前面の電源 / 動作状況 LED インジケータ
- 背面の電源コネクタ、インターフェースポート、セキュリティスロット

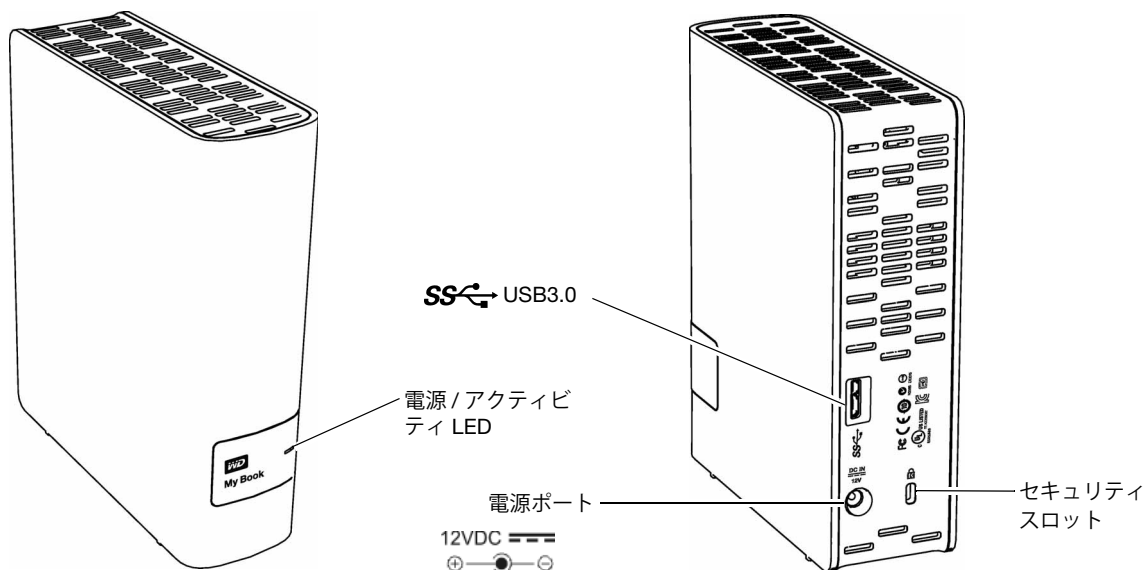


図 2 My Book ドライブ

電源 / アクティビティ LED

電源 / 動作状況 LED は、ドライブの電源状態と動作状況を次のように表示します。

LED 表示	電源状態および動作状況
常時点灯	アイドル
高速点滅 (1 秒に約 3 回)	動作
ゆっくりと点滅 (約 2.5 秒おき)	システムスタンバイ

USB 3.0 インターフェース

USB 3.0 は、最大 5Gb/s (規格値) のデータ転送レートをサポートします。USB 3.0 は USB 2.0 と下位互換性があります。USB 2.0 ポートに接続した場合のデータ転送レートは、最大で 480Mb/s (規格値) です。

Kensington® セキュリティ スロット

ドライブ セキュリティ用に、Kensington セキュリティ スロットには標準 Kensington セキュリティ ケーブル (別売り) を使用できます。セキュリティスロットの詳細については、www.kensington.com をご参照ください。

ユーザー登録

お客様の My Book ドライブをご登録ください。ご登録いただいたお客様には、最新のアップデート情報および特別価格販売などをご案内いたします。ご使用のドライブは、WD Drive Utilities ソフトウェアを使用して簡単にご登録いただけます。また、操作手順は「ドライブのユーザー登録」p. 61 に記載されています。<http://register.wd.com> からオンラインでご登録することもできます。

取り扱い上の注意

WD 製品は精密機械なので、開梱時およびインストールの際は丁寧にお取り扱いください。乱暴な取り扱い、ショックあるいは振動を与えると、本品が損傷することがあります。外付けストレージ製品の開梱や使用の際には、次の注意事項を守ってください。

- ドライブを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 動作中のドライブを動かさないでください。
- 本製品をポータブルドライブとして使用しないでください。
- 十分な通気を確保するために、ドライブのケースの通気孔を塞がないでください。

2

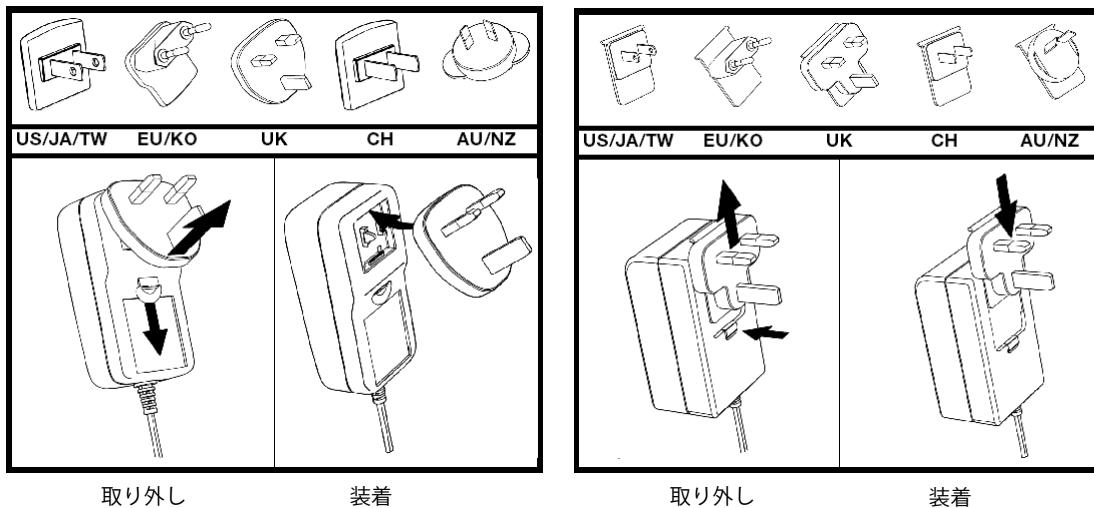
ドライブの接続と使用開始

この章では、ドライブを接続し、WD ドライブユーティリティ、WD セキュリティ、およびWD SmartWare ソフトウェアをご使用のコンピュータにインストールする手順について説明します。この章では以下のトピックについて説明します。

[ドライブの接続](#)
[WD ソフトウェアを使い始める](#)

ドライブの接続

1. 地域によっては、必要な場合、次のように電源アダプタを変更します。



2. コンピュータの電源を入れます。
3. 図 3 に示すように、My Book ドライブを接続します。

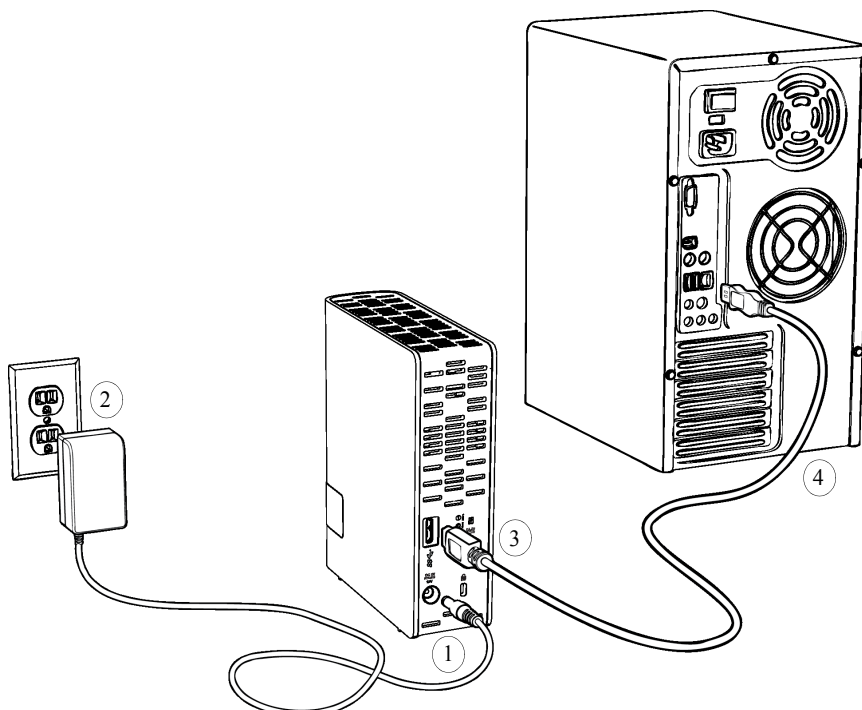


図 3 My Book ドライブの接続

4. [新しいハードウェアの検出] 画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックして画面を閉じます。WD ソフトウェアによりドライブに適したドライバが自動的にインストールされます。
5. ドライブがコンピュータのファイル管理ユーティリティのリストに表示されていることを確認します。

これで、My Book ドライブを外付けストレージデバイスとして使用する準備ができました。ドライブ上にある WD ソフトウェアをインストールすると、機能をより向上させることができます。

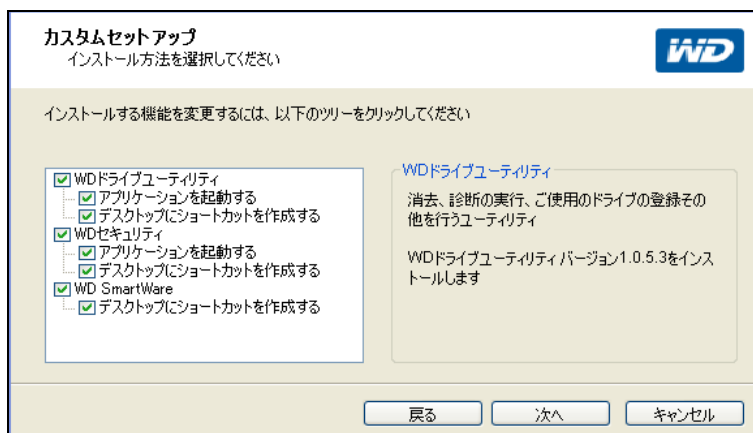
- WD ドライブユーティリティ
- WD セキュリティ
- WD SmartWare

WD ソフトウェアを使い始める

1. コンピュータのファイル管理ユーティリティのドライブのリストに表示される WD Apps Setup ファイルをダブルクリックして、WD ソフトウェアセットアップウィザードを開始します。



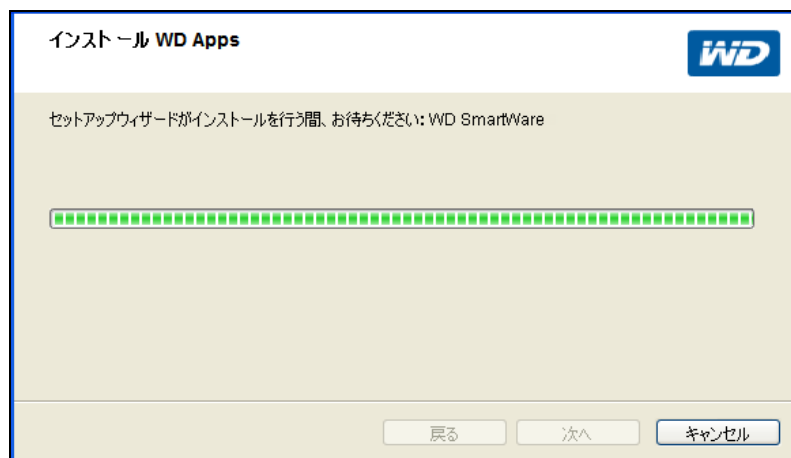
2. [次へ] ボタンをクリックして使用許諾契約を表示します。
3. 使用許諾契約を読み、[使用許諾契約に同意します] チェックボックスをオンにして、[次へ] ボタンを使用可能にします。
4. [次へ] ボタンをクリックして [カスタムセットアップ] ダイアログを表示します。



5. [カスタムセットアップ] ダイアログの操作：

- a. アプリケーション名を選択して、アプリケーションの説明を確認します。
 - **WD ドライブユーティリティ**
 - **WD セキュリティ**
 - **WD SmartWare**
- b. アプリケーションを何もインストールしない場合は、すべてのチェックボックスをオフにします。
- c. 以下のインストールオプションを何も設定しない場合は、すべてのチェックボックスをオフにします。
 - **デスクトップにショートカットを作成する**
 - **アプリケーションを起動する**
- d. [次へ] ボタンをクリックして、選択したアプリケーションおよびインストールオプションのインストールを開始します。

6. インストールの完了を待ちます。



7. インストール完了後、[完了]をクリックしてWD Apps Setup ウィザードを終了します。



8. 選択に応じて、以下ようになります：

- WD ドライブユーティリティと「インストール後にアプリケーションを起動する」オプションのインストールの場合、「WD ドライブユーティリティ画面（p. 9 の図 4 および「ドライブの管理とカスタマイズ」p. 59 を参照）が表示されます。
- WD セキュリティと「インストール後にアプリケーションを起動する」オプションのインストールの場合、「WD セキュリティ」画面（p. 10 の図 5 および「ドライブのロックとロックの解除」p. 52 を参照）が表示されます。
- WD SmartWare ソフトウェアをインストールすると、「WD SmartWare Pro へのアップグレード」画面が表示されます。ここで無料ソフトウェアのアップグレードのアクティベーションを行うことができます（p. 10 の図 6 を参照し、ステップ 9 に進みます）。



図 4 「WD ドライブユーティリティ」画面

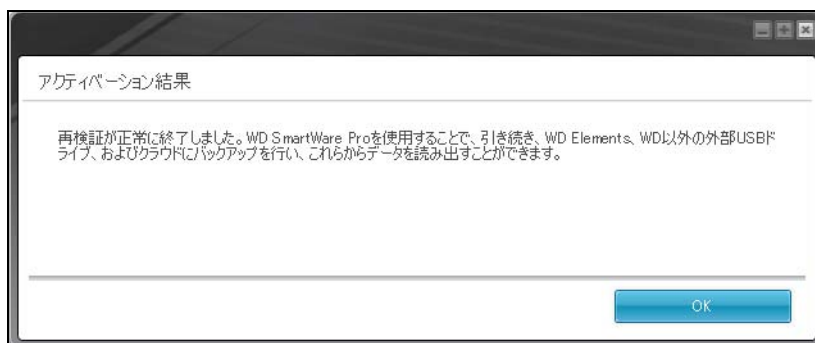


図 5 [WD セキュリティ] 画面



図 6 [WD SmartWare Pro へのアップグレード] 画面

9. WD SmartWare Pro ソフトウェアにアップグレードすることにより、WD 以外のドライブ、サポートされていない WD ドライブ、および Dropbox アカウントへのデータバックアップが可能になります。無料アップグレードのアクティベーションを行うことにより、WD SmartWare Pro ソフトウェアがコンピューターにインストールされます。また、他の 2 台のコンピューターにインストールするためのアクティベーションコードが電子メールで送信されます。
- a. **[名]** ボックスに名前を入力します。
 - b. **[姓]** ボックスに名字を入力します。
 - c. **[メールアドレス]** ボックスにメールアドレスを入力します。
 - d. **[アクティベーション]** をクリックしてアップグレードを完了し、アクティベーション結果メッセージを表示します。



- e. **[OK]** をクリックして、**[バックアップ元とバックアップ先の選択]** 画面を表示します。



ご注意: この時点で WD SmartWare Pro ソフトウェアはインストールされています。ここで初期バックアップのためのセットアップ手順をスキップする場合は、**[バックアップ元とバックアップ先の選択]** 画面の右上隅にある **X** (閉じる) ウィンドウアイコンをクリックします。それ以外はステップ 10 に進みます。

10. [バックアップ元とバックアップ先の選択] 画面の [バックアップ元] 領域で、バックアップ対象のファイルがあるデバイスを選択します。

- a. バックアップ元セレクターを使用して、パソコンの内蔵ドライブまたは Dropbox フォルダのどちらのファイルをバックアップするかを指定します。



- 初期設定では、パソコンの内蔵ドライブをバックアップするように設定されています。



- Dropbox オプションを選択すると、[Dropbox ログインが必要] ダイアログが表示されます。以下の画面上で、WD SmartWare Pro がお客様の Dropbox アカウントにアクセスするように設定します。



Dropbox フォルダをバックアップするには、WD SmartWare Pro が当該 Dropbox アカウントにアクセスできるよう、あらかじめ Dropbox アカウントを設定する必要があります。Dropbox の設定に関する詳細については、p. 70 「DropBox アカウントの設定」をご覧ください。

- Dropbox アカウントを設定後、以下の Dropbox アイコンは、バックアップ元のデータが Dropbox フォルダであることを示しています。

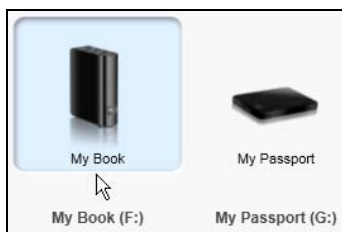


- b. 選択したドライブに複数の内蔵ドライブまたはパーティションが含まれる場合、選択ボックスを使用してバックアップを行うドライブまたはパーティションを一つ選択します。



11. [バックアップ元とバックアップ先の選択] 画面の [バックアップ先] 領域で、以下の操作を行います。

- a. データのバックアップ先として複数のドライブが接続されている場合、バックアップデータの保存先とするドライブを一つ選択します。



- b. 選択されたドライブは、背景が明るい青色でハイライト表示されます。
- c. バックアップデータの保存先として Dropbox を選択する場合、[Dropbox ログインが必要] 画面から、Dropbox アカウントを設定します。



Dropbox の設定に関する詳細については、p. 70 「DropBox アカウントの設定」をご覧ください。

- d. バックアップ先として選択したドライブに複数のパーティションが含まれる場合、以下のデバイスセクターから、任意のパーティションを選択します。

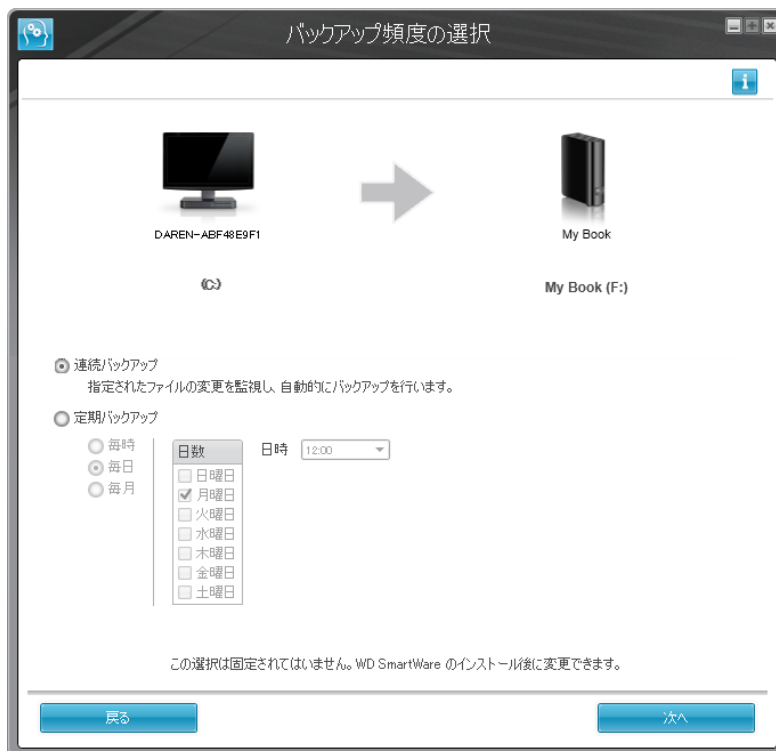


12. [バックアップ元とバックアップ先の選択] 画面の [次へ] ボタンをクリックして、[バックアッププランの選択] 画面を表示します。



13. [バックアッププランの選択] 画面で、以下の操作を行います。

- a. 実行するバックアップの種類を、次のオプションから選択します。
- **カテゴリバックアップ** – バックアップ元デバイス上の選択されたカテゴリのファイルをすべて見つけてバックアップします。
 - **ファイルバックアップ** – バックアップ元デバイスのフォルダービューから選択した特定の個々のファイルあるいはフォルダーをバックアップします。
- b. [次へ] ボタンをクリックして、初回の [バックアップ頻度の選択] 画面を表示します。



14. 初期の [バックアップ頻度の選択] 画面で、次の作業を行います。

- a. 時間を決めてバックアップソースデバイスをスキャンするオプションか、既存のファイルが変更された場合または新しいファイルが追加された場に自動的にバックアップを実行するオプションを選択します。
 - **連続バックアップ** – 常時バックアップが実行されます。
 - **定期バックアップ** – 指定された頻度でバックアップを実行します。
- b. [定期バックアップ] オプションを選択した場合、[毎時]、[毎日]、または[毎月] のオプションを選択し、チェックボックスと選択ボックスを使用してバックアップをスケジュールします。

選択...	バックアップの実行...
毎時	1 時間おきに毎時
毎日	選択した曜日での選択した時刻 a. [曜日] チェックボックスを選択または選択を解除して、バックアップを実行する曜日を指定します。 b. [時刻] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時刻を指定します。
毎月	選択した月日での選択した時刻 a. [毎月日] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する月日 (1 日目、2 日目、3 日目、4 日目、最終日など) を指定します。 b. [曜日] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する曜日を指定します。 c. [時刻] 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時刻を指定します。

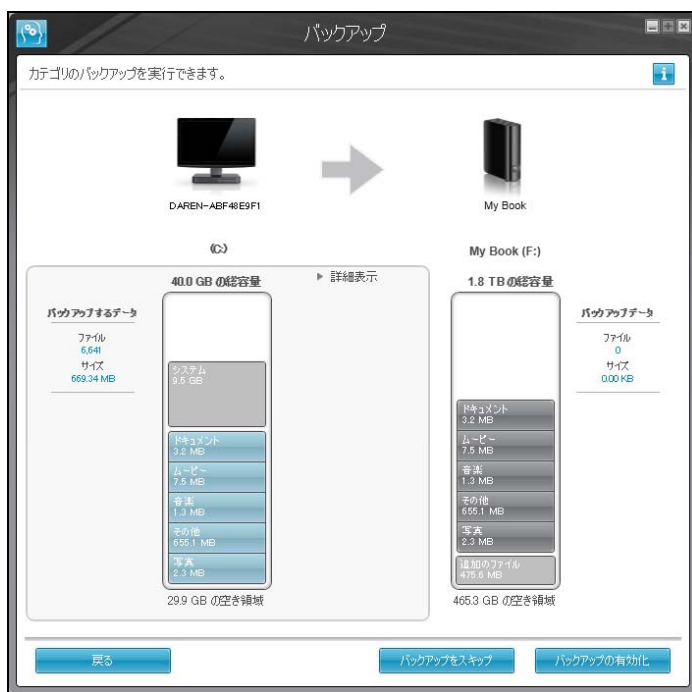
- c. [次へ] ボタンをクリックして、初回バックアップ画面を表示します。初期の [バックアップ] 画面に表示される内容は、p. 14 のステップ 13 で選択したバックアップの種類により異なります。(p. 17 の図 7 を参照してください。)

15. 初回の [バックアップ] 画面で以下の操作を実行します

- 最初のバックアップを実行 – [バックアップを有効にする] をクリックする前に、「ファイルのバックアップ」p. 35 を参照してください。
- [バックアップをスキップ] をクリックして、バックアップをスキップします。

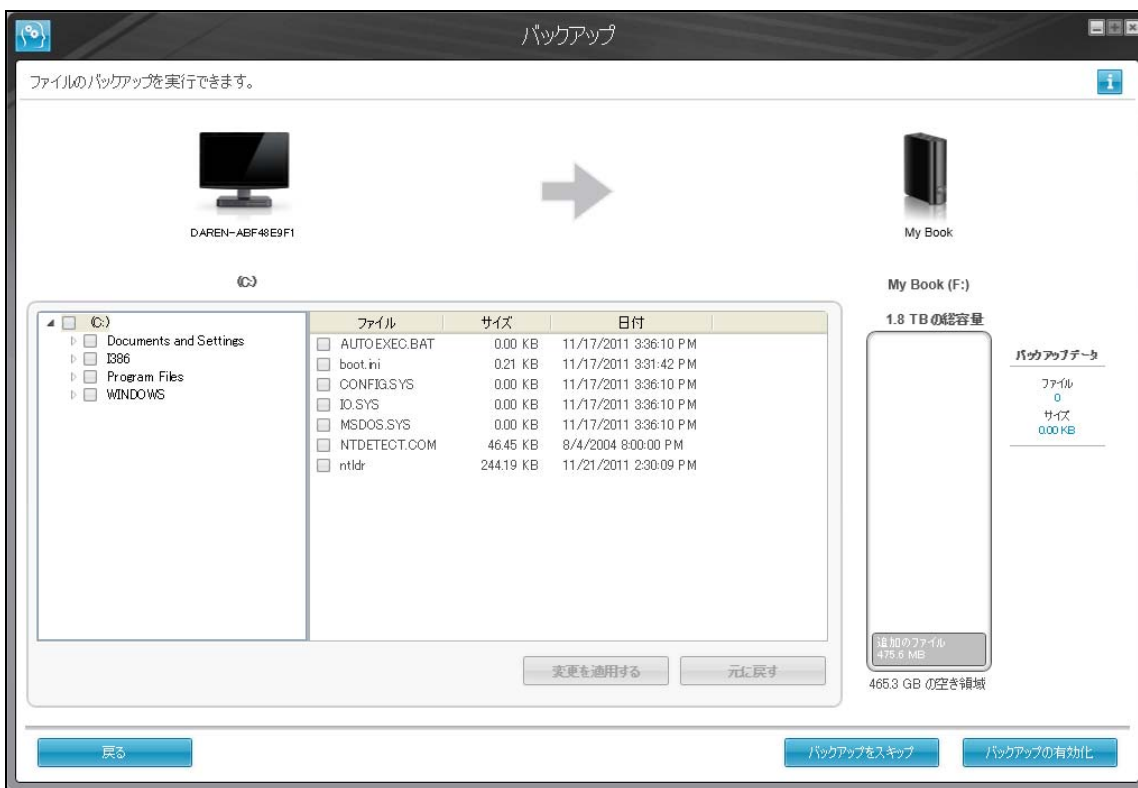
16. **[OK]** をクリックして、バックアッププランの設定完了メッセージを閉じます。





初回のバックアップ画面（カテゴリのバックアップの場合）

ご注意：初回のバックアップ画面は、1 回のみが表示です – WD SmartWare ソフトウェアをご使用のコンピュータにインストールした場合その後は、ソフトウェアを起動すると「ホーム」画面が表示され、処理を選択することができます。



初回のバックアップ画面（ファイルバックアップの場合）

図 7 初回の「バックアップ」画面

3

WD SmartWare ソフトウェア機能 概要

この章では、WD SmartWare ソフトウェアの機能の概要を説明します。この章では以下のトピックについて説明します。

- [ホーム] タブ画面
- [バックアップ] タブ画面
- [復元] タブ画面
- [設定] 画面
- [ヘルプ] タブ画面

WD SmartWare ソフトウェアのすべての特徴と機能は、5 つのタブの選択により表示される次のいずれかの画面で使用できます。

画面...タブ画面	機能...
ホーム	デバイスアイコンとコンテンツゲージが表示されます。ここでは、選択したバックアップ元デバイスと使用できる各バックアップ先デバイスの総量とカテゴリ構成が示されます。 選択したバックアップ元デバイスに、内蔵ハードディスクドライブかハードディスクドライブパーティションが複数ある場合、または、使用できバックアップ先デバイスに、パーティションかネットワーク共有が複数ある場合、WD SmartWare ソフトウェアはセレクトアボックスを表示します。のボックスを使用することで、いずれかを指定することができます。 「[ホーム] タブ画面」 p. 19 を参照してください。
バックアップ	選択するバックアップモードに応じて、次 2 つのバックアップダイアログのいずれかが表示されます。 - カテゴリごとのダイアログには、コンテンツゲージが表示されます。ここでは、選択したバックアップ元デバイスとバックアップ先デバイスの総量とカテゴリ構成が示されます。 - ファイルごとのダイアログには、選択したバックアップ元デバイスのフォルダー一覧が表示されます。一覧を使用して、バックアップするファイルとフォルダーを選択します。 「[バックアップ] タブ画面」 p. 27 を参照してください。
復元	次を選択する 3 つの全画面ダイアログが表示されます。 - ファイルの復元元とするバックアップ済みボリューム - 復元したファイルをコピーする復元先の場所 - 復元するファイル 「[復元] タブ画面」 p. 30 を参照してください。

(続く)

画面...タブ画面	機能...
設定	次の操作を行うためのボタンが表示されます。 • ファイルごとに保持するバックアップバージョンの数を指定する • 復元したファイルを保存するフォルダとして、異なるフォルダを指定する • WD SmartWare のアップデートを自動的に確認する • WD SmartWare Pro ソフトウェアからアクセスするリモート Dropbox フォルダを設定する 「[設定] 画面」 p. 32 を参照してください。
ヘルプ	次に簡単にアクセスできます。 • ファイルのバックアップと復元、およびソフトウェア設定に関する詳細情報 • WD カスタマーサポートおよびソフトウェアアップデートサービス 「[ヘルプ] タブ画面」 p. 33 を参照してください。

各表示で、WD SmartWare は接続されているデバイスのハードウェア構成に応じて名称およびグラフィック画像が変更されます。

ご注意：詳細な [ヘルプ] 画面の情報に加えて、各 WD SmartWare 画面から簡潔なオンラインヘルプに簡単にアクセスでき、バックアップ、復元および設定タスクに役立てることができます。操作で確信が持てない場合は、表示の右上隅にある情報 / オンラインヘルプアイコンをクリックしてみてください。



オンラインヘルプを確認後、情報 / オンラインヘルプ画面を閉じる場合は、画面の右上隅にある **X** アイコンをクリックします。

【ホーム】 タブ画面

[ホーム] タブ画面を使用して、デバイスのコンテンツゲージを表示し、次を選択します。

- バックアップ元デバイスまたはドライブパーティション（ここにバックアップするファイルが格納されている）
- ファイルのバックアップ先またはファイルの復元元となるターゲットデバイスまたはデバイスパーティション / ネットワーク共有

[ホーム] タブ画面の機能概要については、p. 20 の図 8 および 21 ページの「表 1」を参照してください。

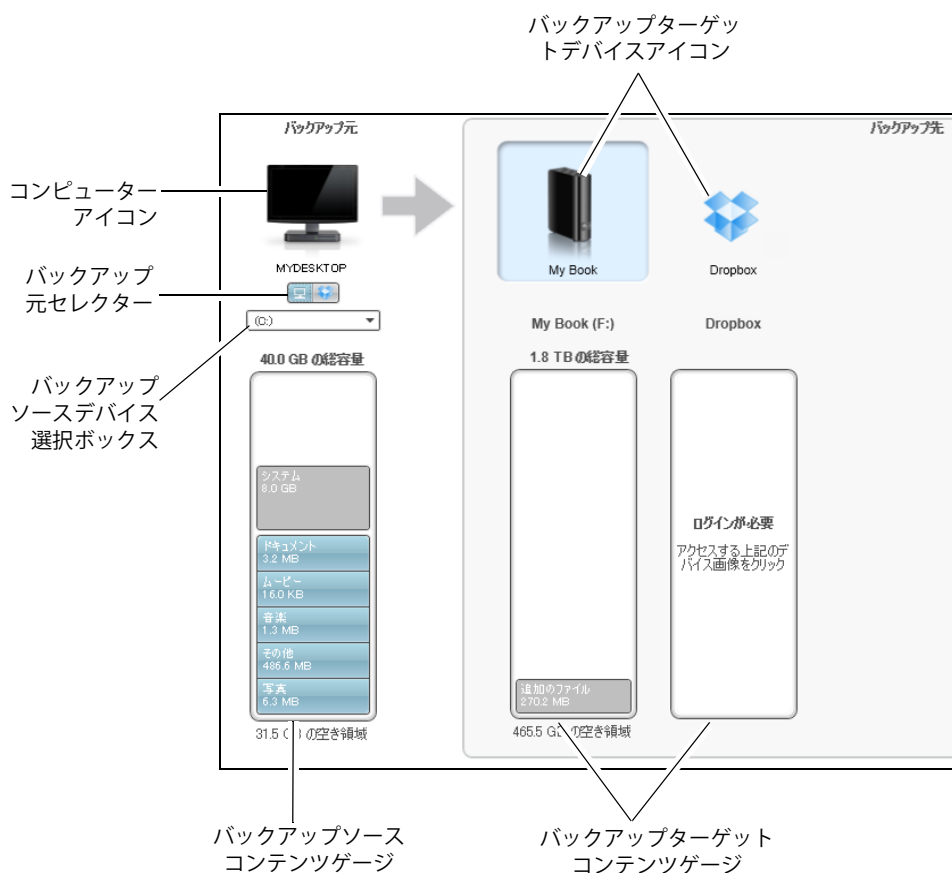
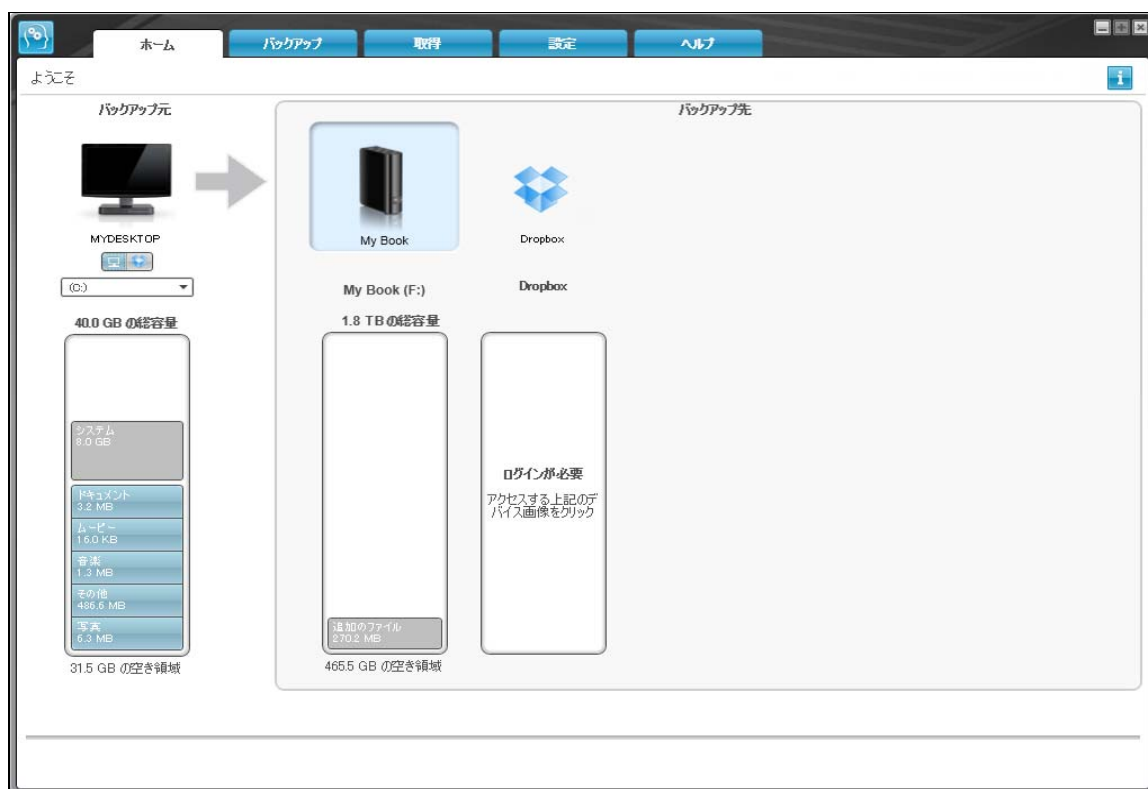


図 8 「ホーム」タブ画面

表1 [ホーム] タブ画面の機能の説明

表示項目	説明
アクティベーションコード必須アイコン	(p. 20 の図 8 には表示されていません。)  デバイスが、WD 製以外のデバイスかサポート対象外の WD 製デバイスであることを示します。このデバイスにアクセスするには、有効なアクティベーションコードと WD SmartWare Proソフトウェアへのアップグレードが必要です。
バックアップ元 Dropbox アイコン	(p. 20 の図 8 には表示されていません。)  バックアップ処理に Dropbox オプションを選択していることを示します。 このアイコンを右クリックし、[アカウントの選択] を選択すると、WD SmartWare Pro ソフトウェアがアクセスする Dropbox アカウントを設定するための、[Dropbox ログインが必要] ダイアログが表示されます。 
バックアップ元 コンピューターアイコン	バックアップ処理にコンピューターオプションを選択していることを示します。選択したドライブまたはドライブパーティションの名前が表示されます。 このアイコンを右クリックして表示されるメニューには、次のオプションがあります。  • 開く - コンピューターのファイル管理ユーティリティのリストが表示されます。 • プロパティ - 選択されたドライブまたはドライブパーティションのための Windows の [システムのプロパティ] ダイアログが表示されます。

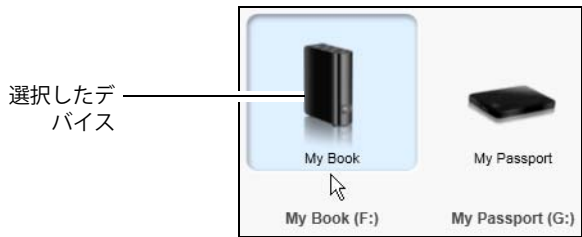
(続く)

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
バックアップ元コンテンツゲージ	選択したバックアップ元デバイスのコンテンツゲージには、次の 6 種類のカテゴリタイプのバックアップで対象となるすべてのファイルが、青色の背景で表示されます。 ファイルのカテゴリ ファイル拡張子 ドキュメント .doc、.txt、.htm、.html、.ppt、.xls、.xml、などのドキュメントの拡張子 メール .mail、.msg、.pst、などのメールの拡張子 音楽 .mp3、.wav、.wma、などの音楽の拡張子 ムービー .avi、.mov、.mp4、などのムービーの拡張子 写真 .gif、.jpg、.png、などの写真の拡張子 その他 主要な 5 種類のカテゴリに属さないその他のファイル 対象となるすべてのファイル拡張子の一覧については、 http://support.wd.com で、WD ナレッジベースの回答 ID 3644 を検索してください。 メモ： - 暗い灰色の背景で表示されるシステムカテゴリは、カテゴリタイプのバックアップの対象にならない次のオペレーティングシステムファイルです。システムファイル、プログラムファイル、アプリケーション、.tmp ファイルや .log ファイルなどの作業ファイル、および Temp フォルダに保存されているすべてのファイルです。 - ファイルバックアップを実行するとき、[システム] カテゴリの名前が [除外] に変更されます。[除外] カテゴリには、ファイルバックアップに含まれなかったすべてのファイルが含まれます。 - 暗い灰色の背景で表示される [復元] カテゴリには、以前のバックアップから復元されたファイルが含まれます。これらのファイルは、カテゴリタイプのバックアップにも適用されます。 - バックアップターゲットデバイスに対するコンテンツゲージの [追加ファイル] にはデバイスをインストールしたときにオペレーティングシステムが配置したシステムファイルと隠されたファイルが示されます。 - Outlook の .pst ファイルは頻繁に変更されるため、このファイルが連続バックアップでバックアップされるのは、24 時間に一度のみです。この例外は、他のメールアプリケーションファイルには適用されません。定期バックアップでは、Outlook の .pst ファイルは予定どおりにバックアップされます。 - ポインターを [カテゴリ] の上に移動すると、カテゴリ内のファイルの数が表示されます。

(続く)

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
バックアップ元デバイスセクター	コンピューターオプションが選択されている場合、バックアップ元デバイスとして使用できる、コンピューターの内蔵ハードディスクドライブ、ードディスクドライブパーティション、直接接続ドライブのすべてが、一覧表示されます。
バックアップ元セクター	バックアップ元デバイスの種類を選択する次のオプションを表示します。 - コンピューターオプションを選択すると、コンピューターアイコンが表示され、コンピューターの内蔵ハードディスクドライブ、ハードディスクドライブパーティション、直接接続ドライブのすべてが、デバイスセクターに一覧表示されます。 - Dropbox オプションを選択した場合、Dropbox アイコンが表示され、デバイス選択ボックスは非表示になります。
バックアップ先コンテンツゲージ	WD SmartWare ソフトウェアをインストールした後では、デバイスに初回のバックアップやファイルのコピーを行わなくても、バックアップ先のコンテンツゲージでは、[その他のファイル] カテゴリに少量のファイルのみが表示されます。これらは、デバイスを取り付けた際にコンピューターのオペレーティングシステムが格納したシステムファイルや隠しファイルです。 デバイスにバックアップやファイルのコピーを行った後では、バックアップ先のコンテンツゲージには、次が表示されます。 - バックアップ元デバイスのコンテンツゲージと同じカテゴリにバックアップされたすべてのファイル (「バックアップ元コンテンツゲージ」 p. 22 を参照してください) [その他のファイル] カテゴリでデバイスにコピーまたは保存したその他のファイル
バックアップ先デバイスアイコン	コンピューターに接続されたバックアップ先デバイスの名前を表示します。 コンピューターにサポート対象のデバイスを複数接続している場合、バックアップ機能と復元機能に使用するいずれかのデバイスを左クリックします。WD SmartWare ソフトウェアは、選択したデバイスを明るい青色の背景でハイライト表示します。 

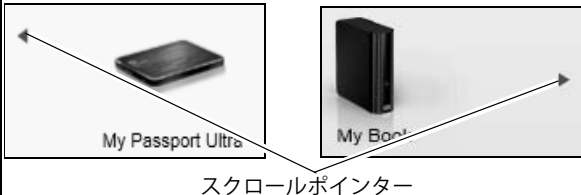
(続く)

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
バックアップ先デバイスアイコン (続く)	直接接続ドライブアイコンを右クリックして表示されるメニューには、次のオプションがあります。  • 開く – コンピューターのファイル管理ユーティリティにデバイスリストを表示します。 • プロパティ – Windows の [ドライブプロパティ] ダイアログを表示します。 • 安全な取り外し – ドライブを取り外すための準備が行われます。 ご注意：WD 製以外のドライブには、[安全な削除] オプションは使用できません。 ネットワーク接続デバイスアイコンを右クリックして表示されるメニューには、次のオプションがあります。  • 開く – コンピューターのファイル管理ユーティリティのデバイスリストが表示されます。 • ダッシュボード – デバイス設定のための Web インターフェースを表示します。 • マップ – Windows の [ネットワークドライブのマッピング] ダイアログを表示します。 • ショートカットの作成 – デバイスへのショートカットをデスクトップ画面に追加します。 • 警告 – WD SmartWare の WD アラートレポートを表示します。 • プロパティ – デバイスの詳細およびトラブルシューティング情報を表示します。 Dropbox フォルダアイコンを右クリックすると、[Dropbox ログインが必要] ダイアログへのリンクが表示されます。このダイアログでは、WD SmartWare Pro フトウェアによるアクセスのための Dropbox アカウントを設定します。

(続く)

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
バックアップターゲット デバイス選択ボックス	(p. 20 の図 8 には表示されていません。)  サポート対象のバックアップ先デバイスにドライブパーティションまたはネットワーク共有が複数ある場合、そのデバイスの各アイコンの下にバックアップ先デバイスセクターが表示されます。ここで選択するドライブパーティションまたはネットワーク共有は、その後のバックアップ処ではバックアップ先に、復元処理ではバックアップ元になります。
デバイス表示スクロール ポインター	p. 20 の図 8 には表示されていません：  1 つの WD SmartWare のインストールで、システムが処理できる最大数の外付けデバイスに対応します。接続されているデバイス数のすべてを表示できない場合、WD SmartWare ソフトウェアの左右にあるデバイス表示スクロールポインタを使って、すべてのデバイスを確認することができます。
デバイスロックアイコン	(p. 20 の図 8 には表示されていません。)  デバイスがパスワードで保護され、ロックされていることを示します。
無料お試しカウントダウン アイコン	(p. 20 の図 8 には表示されていません。)  WD SmartWare Pro ソフトウェアの 30 日間無料アップグレードお試し版により、WD 製以外のデバイス、サポート対象外のデバイス、リモートの Dropbox フォルダにアクセス中であることを示します。

(続く)

表 1 [ホーム] タブ画面の機能の説明 (続く)

表示項目	説明
ログイン必須アイコン	(p. 20 の図 8 には表示されていません。)  セキュリティ保護されたネットワーク接続ストレージデバイスにアクセスするには有効なログインユーザー名とパスワードが必要であることを示します。
書き込み可能パーティションなしアイコン	(p. 20 の図 8 には表示されていません。)  WD SmartWare ソフトウェアが、有効なボリュームや共有をデバイスで見つけれない場合に表示されます。WD SmartWare のバックアップ機能と復元機能で用するデバイスを選択するには、そのデバイスを事前に設定しておく必要があります。

【バックアップ】 タブ画面

WD SmartWare ソフトウェアは、バックアップするファイルの方法に応じて、2 種類の「バックアップ」画面表示のいずれか 1 つを表示します。

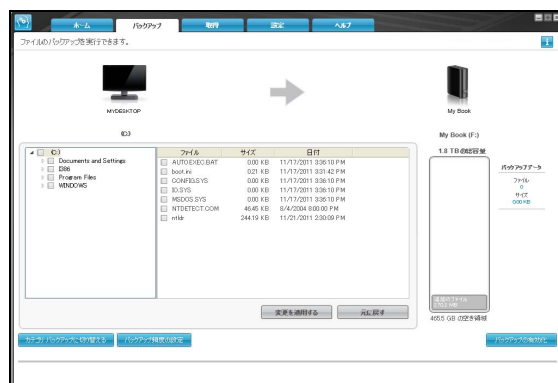
- カテゴリ別 – コンテンツゲージの表示内容と同様
- ファイル別 – コンピュータの内蔵ドライブのフォルダ構成と同様

WD SmartWare の「バックアップ」画面でバックアップおよびバックアップ操作を管理したいファイルまたはファイルのカテゴリの選択を行います。

「バックアップ」タブ画面の機能概要については、下記の図 9 および 28 ページの「表 2」を参照してください。



カテゴリ別バックアップ画面



ファイル別バックアップ画面

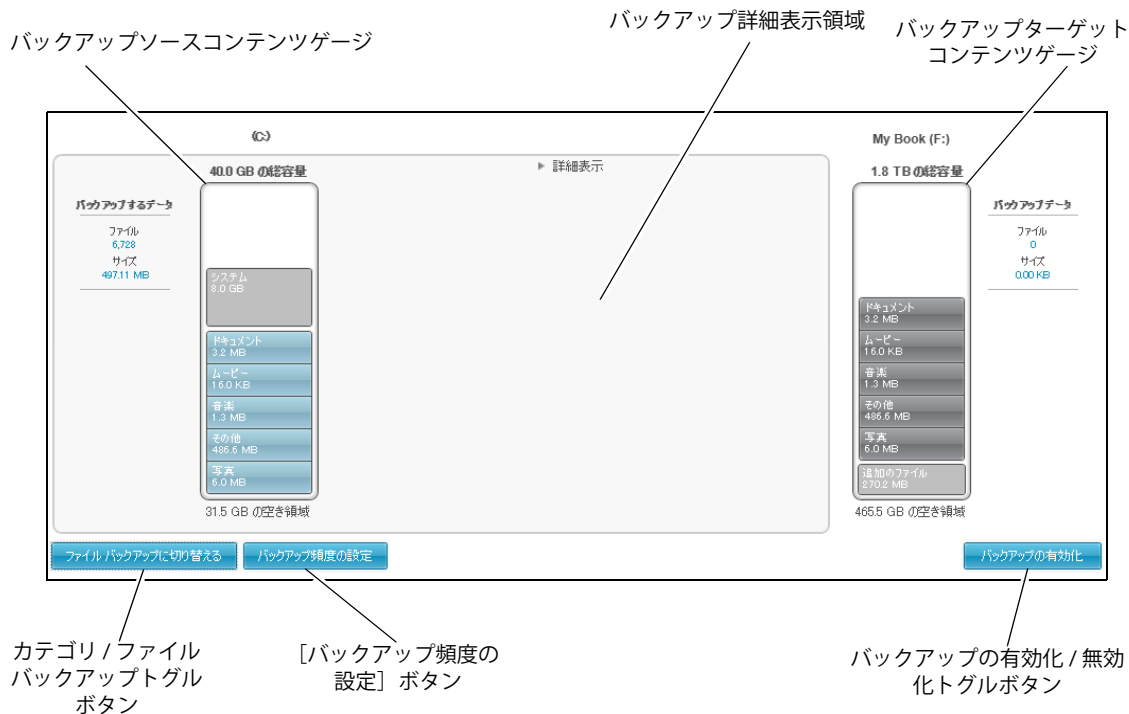


図 9 「バックアップ」画面

表2 「バックアップ」タブ画面の機能の説明

表示項目	説明
バックアップ詳細表示領域	WD SmartWare ソフトウェアの初期 / デフォルト設定では、カテゴリモードで、ファイルのすべてのカテゴリをバックアップします。この設定では、バックアップ詳細表示領域は空白です。 「詳細表示」 をクリックすると、バックアップファイルの選択ボックスが表示され、バックアップするファイルのカテゴリが指定できます。  バックアップファイルの選択ボックスで 「変更を適用する」 をクリックすると、カスタムバックアッププランが作成され、コンテンツゲージが更新されます。 「ファイルバックアップに切り替える」 をクリックすると、フォルダー構成が表示され、バックアップするファイルまたはフォルダーを個々に指定できます。  ご注意：「バックアップ」タブ画面では、バックアップ元デバイスのコンテンツゲージが、フォルダー構成の表示に置き換わります。

(続く)

表2 「バックアップ」タブ画面の機能の説明（続く）

表示項目	説明
バックアップ詳細表示領域（続く）	WD SmartWare ソフトウェアの初期 / デフォルト設定では、ファイルモードで、どのファイル / フォルダーもバックアップ対象として選択されていません。バックアップするファイルまたはフォルダーを選択したら、次の作業を行います。 • 「変更を適用する」をクリックして、直近の選択を使用してカスタムバックアッププランを作成します。 • 「元に戻す」をクリックして、直近の選択を解除し、以前に適用した設定を再表示します。
バックアップ予定通知ボタン	(p. 27 の図 9 には表示されていません。)  定期バックアップの場合、このボタンをクリックすると次の内容のステータスダイアログが表示されます。 • 次回の定期バックアップの日付と時刻、行われなかった可能性のある直近のバックアップ、完了した直近のバックアップが表示されます。 • スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行するための「今すぐバックアップ」ボタンが提供されます。
バックアップ元コンテンツゲージ	「ホーム」画面に表示されるバックアップソースデバイスのコンテンツゲージと同様（「バックアップ元コンテンツゲージ」 p. 22 を参照してください。）
バックアップ先コンテンツゲージ	「ホーム」画面に表示されるバックアップターゲットデバイスのコンテンツゲージと同様（「バックアップ先コンテンツゲージ」 p. 23 を参照してください。）
カテゴリ / ファイルバックアップトグルボタン	カテゴリバックアップとファイルバックアップのモードを切り替えます。 • カテゴリモード – コンテンツゲージに示されるカテゴリに従い、ファイルをバックアップします。 バックアップモードがカテゴリの場合、ボタン名は「ファイルバックアップに切り替える」になります。 • ファイルモード – 選択したバックアップ元ドライブのフォルダー構成に従い、ファイルをバックアップします。 バックアップモードがファイルの場合、ボタン名は「カテゴリバックアップに切り替える」になります。
バックアップの有効化 / 無効化トグルボタン	バックアップを開始および停止します。
「バックアップ頻度の設定」ボタン	「バックアップ頻度の設定」ダイアログを開いて、連続バックアップまたは定期バックアップのいずれかを選択します。連続バックアップは絶え実行されます。定期バックアップは、指定した日付と時刻でのみ実行されます。

〔復元〕 タブ画面

WD SmartWare ソフトウェアの〔復元〕画面では、お客様が手順を確認しながらバックアップファイルの検出処理および選択したバックアップソースデバイスへコピー処理が行えます。

- 復元元バックアップボリュームの選択
- ファイルの復元先の選択
- 選択したバックアップターゲットデバイスから復元するファイルの選択

〔復元〕タブ画面の機能概要については、下記の図 10 および 31 ページの「表 3」を参照してください。



バックアップボリューム選択ボックス

復元元ボリュームの選択画面



復元先オプションボタン

復元フォルダーボックスの変更
および検索ボタン

ファイルの復元先の選択画面



復元ファイルオプションボタン

一部のファイルの復元選択ボックス

〔復元の開始/キャンセル〕トグルボタン

復元するコンテンツの選択画面

図 10 〔復元〕タブ画面

表3 「復元」タブ画面の機能の説明

表示項目	説明
バックアップボリューム 選択ボックス	選択したバックアップ先デバイスでファイルの復元元になり得るバックアップ済みボリュームを一覧表示します。 [次へ] をクリックして復元処理を引き続き行えるようにするには、バックアップボリュームを事前に選択する必要があります。
復元フォルダーボックス の変更および検索ボタン	デフォルトでは、WD SmartWare ソフトウェアは、ユーザー名の [マイドキュメント] フォルダーに [復元したコンテンツ] という名前のフォルダーを作成し、使用します。別のフォルダーを指定する場合は、参照機能を使用し、[適用] をクリックします。
復元先オプションボタン	選択したバックアップターゲットデバイスから復元したファイルのコピー先を指定します。 • [元の場所] は復元されたファイルをバックアップされた元の同じ場所にコピーします。 • [復元したコンテンツ] は復元したすべてのファイルを単一のフォルダにコピーします。
復元ファイルオプション ボタン	デフォルトでは、[一部のファイルの復元] オプションが選択されており、WD SmartWare ソフトウェアは [一部のファイルの復元] 選択ボックスを表示します。このボックスを使用すれば、選択したファイルまたはフォルダーのみを見け出し、復元することができます。 [すべてのファイルを復元] オプションを選択すると、[一部のファイルを復元] 選択ボックスが閉じられ、WD SmartWare ソフトウェアは選択したバックアップターゲットデバイスの選択したバックアップ ボリュームからすべてのファイルを復元します。
[一部のファイルを復元] 選択ボックス	選択したバックアップ済みボリュームからのすべてのファイルをフォルダー構成で表示します。ここには、ファイルまたはフォルダーを個々に選するチェックボックスが表示されます。 
復元の開始 / キャンセルト グルボタン	復元の開始およびキャンセルを行って、復元操作を制御します。

【設定】画面

【設定】画面の機能概要については、図 11 および表 4 を参照してください。

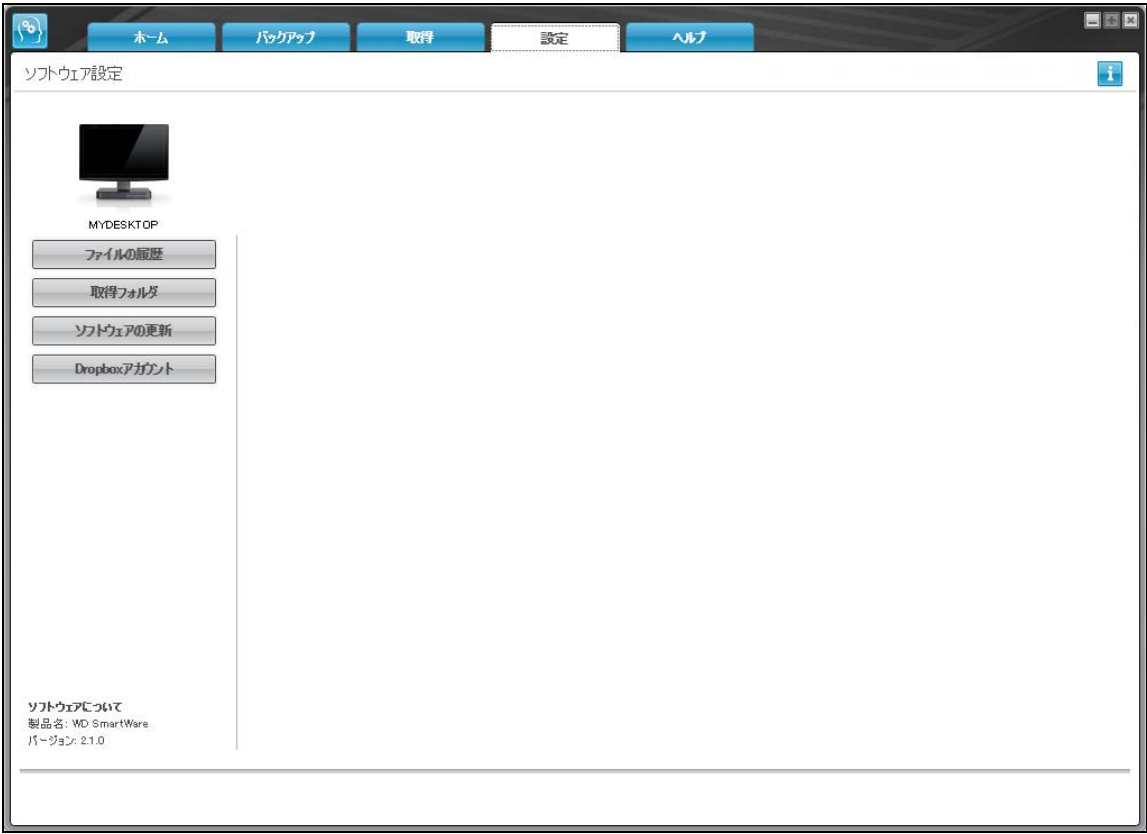


図 11 【設定】画面

表 4 【設定】タブ画面の機能の説明

表示項目	説明
「Dropbox アカウント」ボタン	「Dropbox アカウント」ダイアログを表示して、WD SmartWare Pro ソフトウェアがアクセスするリモートの Dropbox フォルダを設定します。
「ファイルの履歴」ボタン	「ファイルの履歴設定」ダイアログを表示して、ファイルごとに保持しておくバックアップバージョンの数を指定します。
「復元フォルダ」ボタン	「復元フォルダの設定」ダイアログを表示して、ファイルの別の復元先フォルダを指定します。
「ソフトウェアの更新」ボタン	「ソフトウェアの更新」ダイアログを表示して、ソフトウェアの更新を自動的にチェックするオプションを有効 / 無効にします。

【ヘルプ】 タブ画面

WD SmartWare の【ヘルプ】画面を使うと、ラーニングセンターのトピックやオンラインサポートサービスへのリンクを簡単に利用できます。

【ヘルプ】画面の機能概要については、図 12 および表 5 を参照してください。

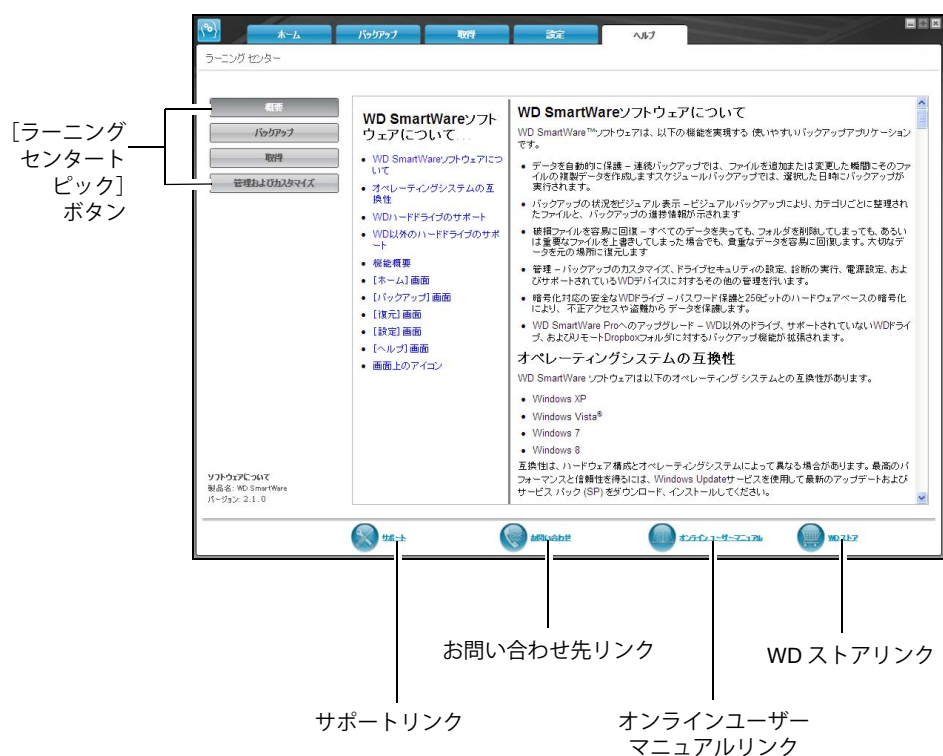


図 12 【ヘルプ】 タブ画面

表 5 【ヘルプ】 タブ画面の機能の説明

表示項目	説明
お問い合わせ先リンク	Web ブラウザーを使用して、WD のサービスとサポートのお問い合わせ先ページ (http://support.wd.com/contact) に接続します。
【ラーニングセンター トピック】 ボタン	ラーニングセンターの次のような主なヘルプトピックを表示するためのリンクがあります。 - 概要 - バックアップ - 復元 - 管理およびカスタマイズ
オンラインユーザー マニュアルリンク	ブラウザを使用して以下の URL にアクセスし、WD SmartWare マニュアルを参照することができます http://www.wd.com/wdproducts/wdsmartware/um.asp 。 ここで、WD デバイスのオンラインユーザーマニュアルを選択して表示することができます。

(続く)

表 5 「ヘルプ」 タブ画面の機能の説明（続く）

表示項目	説明
サポートリンク	Web ブラウザーを使用して、WD のサービスとサポートのホームページ（ http://support.wd.com ）に接続します。
WD ストアリンク	Web ブラウザーを使用して、次の WD のオンラインストアに接続します。 http://store.westerndigital.com/store/wdus 。

4

ファイルのバックアップ

この章では、次のトピックについて説明します。

バックアップ機能のしくみ
ファイルのバックアップ

バックアップ機能のしくみ

WD SmartWare ソフトウェアはすべての大事なファイル（音楽、映画、写真、文書、メール、およびその他のファイル）を選択したバックアップ先デバイスに自動的にバックアップします。連続バックアップにより、選択したバックアップ元デバイスでファイルを追加や変更するたびに、複製コピーを直ちに作成します。定期バックアップは、選択した日付や時刻で実行されます。

[バックアップの有効化] ボタンをクリックすると、WD SmartWare ソフトウェアは、選択したバックアップ元デバイスでさまざまな種類のファイルを分類し、これらすべてを選択したバックアップ先デバイスにバックアップします。またユーザーは、バックアップする特定のファイル、フォルダー、またはファイルのカテゴリを選択することができます。

バックアップを実行すると、WD SmartWare ソフトウェアは次のファイルをバックアップして、保護します。

- 選択したバックアップ元デバイスで作成、またはコピーされる新しいファイル
- 変更される既存のファイル

この保護は、バックアップ元とバックアップ先のデバイスをコンピューターに接続したままの状態でも WD SmartWare ソフトウェアが自動的に行います。ユーザーは何もする必要はありません。

ご注意：バックアップ保護は、バックアップ元とバックアップ先のデバイスがコンピューターに接続されている限り、自動的に行われます。したがって、いずれかのデバイスの接続を解除して再接続するたびに、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップ元デバイスを再スキャンして新しいファイルや変更されたファイルを見つけ出し、自動的なバックアップ保護を再開します。

ファイルのバックアップ

1. [ホーム] 画面の [バックアップ元] 領域で、バックアップするファイルがあるデバイスを選択します。
 - a. バックアップ元セクターを使用して、ローカルのハードディスクドライブまたはリモートのDropboxフォルダーのどちらからファイルをバックアップするかを指定します。



- デフォルトでは、コンピューターオプションが選択され、コンピューターのアイコンにより、バックアップ元デバイスは、内蔵ハードディスクドライブ、ドライブパーティション、または直接接続されたローカルの外付けハードディスクドライブのいずれかであることが示されます。



- Dropbox オプションを選択すると、Dropbox アイコンが表示されバックアップ元が Dropbox フォルダであることを示します。

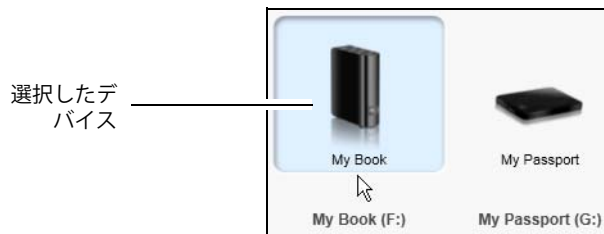


- b. バックアップ元とするドライブに複数のドライブまたはパーティションが含まれる場合、デバイス選択ボックスからバックアップ対象とするボリュームを選択します。



2. [ホーム] 画面の [バックアップ先] 領域で、次の作業を行います。

- a. コンピュータに複数のバックアップターゲットデバイスを接続している場合は、バックアップ対象にする 1 つのターゲットを選択します。



- b. 選択されたデバイスは背景が明るい青色でハイライトされます。
- c. 選択したバックアップ先デバイスに、ドライブパーティションまたはネットワーク共有が複数ある場合、デバイスアイコンの下にあるバックアップ先デバイスセレクターを使用して、いずれかを選択します。



3. [バックアップ] タブをクリックして、[バックアップ] 画面を表示します (p. 27 の図 9 を参照)。

4. WD SmartWare ソフトウェアの初期 / デフォルト設定では、連続バックアップに設定されています。スケジュールバックアップを設定する場合は、**「バックアップ頻度の設定」** をクリックして **「バックアップ頻度の設定」** ダイアログを表示します。



5. **「バックアップ頻度」** ダイアログで、以下の操作を行います。
- 「スケジュールバックアップ」** オプションを選択します。
 - 「毎時」**、**「毎日」**、または **「毎月」** のオプションを選択し、チェックボックスと選択ボックスを使用してバックアップをスケジュールします。

選択...	バックアップの実行...
毎時	1 時間おきに毎時
毎日	選択した曜日での選択した時刻 a. 「曜日」 チェックボックスを選択または選択を解除して、バックアップを実行する曜日を指定します。 b. 「時刻」 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時刻を指定します。
毎月	選択した月日での選択した時刻 a. 「毎月日」 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する月日（1 日目、2 日目、3 日目、4 日目、最終日など）を指定します。 b. 「曜日」 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する曜日を指定します。 c. 「時刻」 選択ボックスを使用して、バックアップを実行する時刻を指定します。

- 「OK」** をクリックして、スケジュールを保存し、**「バックアップ頻度の設定」** ダイアログを閉じます。

6. [バックアップ] 画面で、次の作業を行います。

選択したバックアップ元デバイスでのバックアップ対象... 選択したバックアップソースデバイスで、以下の操作を行います。	作業...
すべてのファイルのカテゴリ	ステップ 7 に進みます。
選択したファイルのカテゴリ	p. 39 のステップ 8 に進みます。
すべてのファイルとフォルダー	p. 40 のステップ 9 に進みます。
選択したファイルとフォルダー	p. 42 のステップ 10 に進みます。

7. すべてのファイルのカテゴリを、選択したバックアップ元デバイスからバックアップするには、次の作業を行います。

- a. バックアップモードがカテゴリであり、[バックアップ] 画面の左上端に、[カテゴリバックアップが実行できます] が表示されていることを確認します。

バックアップモードとして [ファイルバックアップ] が選択され、[ファイルのバックアップを実行できます] が表示されている場合は、[カテゴリのバックアップに切り替える] ボタンをクリックし、表示される [バックアッププランを切り替える] ダイアログで [OK] をクリックします。

- b. [詳細表示] をクリックしてカテゴリ別バックアップ選択ボックスを開き、6 つのカテゴリすべてのチェックボックスが選択されていることを確認します。



- c. 選択が解除されているチェックボックスを選択し、[変更を適用する] をクリックして、カスタムバックアッププランを作成し、コンテンツゲージを最新の情報に更新します。

- d. **「バックアップの有効化」** をクリックして、バックアップ元デバイスから、すべてのファイルのカテゴリのバックアップを、指定したバックアップ頻度で開始します。続いて、p. 43 のステップ 11 に進みます。

ご注意： p. 37 のステップ 5 で定期バックアップを設定した場合、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップスケジュールリマインダボタンをバックアップ画面に追加します。



リマインダボタンをクリックすると、**「スケジュールバックアップステータス」** ダイアログが表示されます。このダイアログには、次回のスケジュールバックアップの日時、バックアップに失敗した可能性のある最終バックアップ、バックアップを完了した最終バックアップが表示されます。



スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行する場合は、**「今すぐバックアップ」** をクリックします。

8. 選択したファイルのカテゴリを、選択したバックアップ元デバイスからバックアップするには、次の作業を行います。
- バックアップモードがカテゴリであり、**「バックアップ」** 画面の左上端に、**「カテゴリバックアップが実行できます」** が表示されていることを確認します。

バックアップモードがファイルであり、そこに**「ファイルバックアップが実行できます」** が表示されている場合は、**「カテゴリバックアップに切り替える」** ボタンをクリックし、**「バックアッププランの切り替え」** プロンプトで **「OK」** をクリックします。

- 「詳細表示」** をクリックしてカテゴリ別バックアップ選択ボックスを表示します。



- c. [カテゴリを選択してバックアップ] ボックスで、以下の手順を実行します：
 - バックアップの対象外とするファイルのカテゴリに対して、チェックボックスの選択を解除します。
 - バックアップの対象とするファイルのカテゴリに対して、チェックボックスを選択します。
- d. [変更を適用する] をクリックして、カスタムバックアッププランを作成し、コンテンツページを最新の情報に更新します。
- e. [バックアップの有効化] をクリックして、選択したバックアップ元デバイスから、選択したファイルのカテゴリのバックアップを、指定したバックアップ頻度で開始します。続いて、p. 43 のステップ 11 に進みます。

ご注意： p. 37 のステップ 5 で定期バックアップを設定した場合、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップスケジュールリマインダボタンをバックアップ画面に追加します。



リマインダボタンをクリックすると、[スケジュールバックアップステータス] ダイアログが表示されます。このダイアログには、次回のスケジュールバックアップの日時、バックアップに失敗した可能性のある最終バックアップ、バックアップを完了した最終バックアップが表示されます。

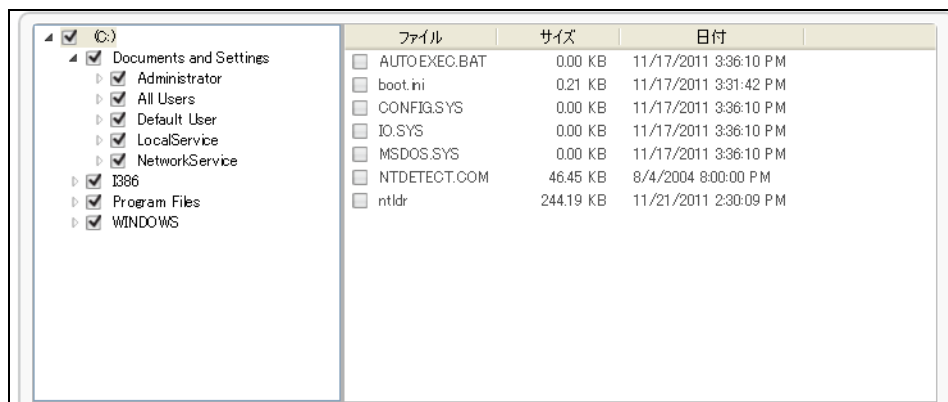


スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行する場合は、[**今すぐバックアップ**] をクリックします。

9. すべてのファイルとフォルダーを、選択したバックアップ元デバイスからバックアップするには、次の作業を行います。
 - a. バックアップモードがファイルであり、[バックアップ] 画面の左上端に、[ファイルバックアップが実行できます] が表示されていることを確認します。
 バックアップモードがカテゴリであり、そこに [カテゴリバックアップが実行できます] が表示されている場合は、[**ファイルバックアップに切り替える**] ボタンをクリックし、[バックアッププランの切り替え] プロンプトで [OK] をクリックします。
 - b. [ファイルを選択してバックアップ] ボックスで、バックアップソースデバイスのチェックボックスをオンにします：



- c. フォルダ構成を開きます。バックアップソースデバイスのチェックボックスをオンにするとデバイスのすべてのファイルとフォルダのチェックボックスがオンになることを確認します。



- d. **「変更を適用する」** をクリックして、ここでの選択を使用してカスタムバックアッププランを作成します。

ご注意： **「元に戻す」** をクリックすると、直近の選択が解除され、以前に適用した設定が再表示されます。

- e. **「バックアップの有効化」** をクリックして、選択したバックアップ元デバイスから、すべてのファイルとフォルダのバックアップを、指定したバックアップ頻度で開始します。続いて、p. 43 のステップ 11 に進みます。

ご注意： p. 37 のステップ 5 で定期バックアップを設定した場合、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップスケジュールリマインダボタンをバックアップ画面に追加します。



リマインダボタンをクリックすると、**「スケジュールバックアップステータス」** ダイアログが表示されます。このダイアログには、次回のスケジュールバックアップの日時、バックアップに失敗した可能性のある最終バックアップ、バックアップを完了した最終バックアップが表示されます。



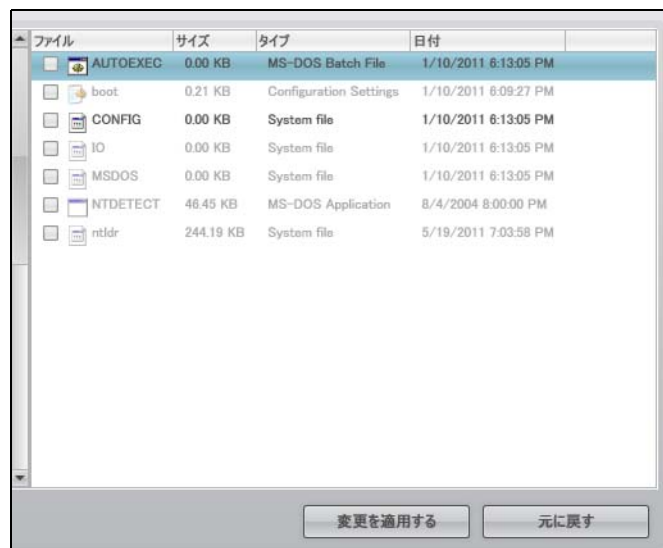
スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行する場合は、**「今すぐバックアップ」** をクリックします。

10. 選択したファイルまたはフォルダーを、選択したバックアップ元デバイスからバックアップするには、次の作業を行います。

- a. バックアップモードがファイルであり、[バックアップ] 画面の左上端に、[ファイルバックアップが実行できます] が表示されていることを確認します。

バックアップモードがカテゴリであり、そこに [カテゴリバックアップが実行できます] が表示されている場合は、[ファイルバックアップに切り替える] ボタンをクリックし、[バックアッププランの切り替え] プロンプトで [OK] をクリックします。

- b. [ファイルを選択してバックアップ] ボックスで、フォルダ構成を開きます。



- c. バックアップするファイルまたはフォルダーのチェックボックスを個々に選択します。

フォルダーのチェックボックスを選択すると、そのフォルダー内のサブフォルダーとファイルがすべて自動的に選択されることに注意してください。

- d. [変更を適用する] をクリックして、ここでの選択を使用してカスタムバックアッププランを作成します。

ご注意： [元に戻す] をクリックすると、直近の選択が解除され、以前に適用した設定が再表示されます。

- e. **「バックアップの有効化」** をクリックして、選択したバックアップ元デバイスから、選択したファイルまたはフォルダーのバックアップを、指定したバックアップ頻度で開始します。続いて、p. 43 のステップ 11 に進みます。

ご注意： p. 37 のステップ 5 で定期バックアップを設定した場合、WD SmartWare ソフトウェアはバックアップスケジュールリマインダボタンをバックアップ画面に追加します。



リマインダボタンをクリックすると、[スケジュールバックアップステータス] ダイアログが表示されます。このダイアログには、次のスケジュールバックアップの日時、バックアップに失敗した可能性のある最終バックアップ、バックアップを完了した最終バックアップが表示されます。



スケジュールを無視して今すぐバックアップを実行する場合は、**「今すぐバックアップ」** をクリックします。

11. バックアップ中の表示、および可能な作業は次のとおりです。
- 進行状況バーとメッセージには、バックアップされたデータ量が示されます。
 - カテゴリバックアップの場合は、次のような表示になります。
 - バックアップ元デバイスのコンテンツゲージでは、まだバックアップされていないファイルのカテゴリでのすべてのファイルの背景が、青色から色/こはく色に変わります。
 - バックアップ先デバイスのコンテンツゲージでは、バックアップが完了したファイルのカテゴリの背景が、灰色から青色に変わります。
 - WD SmartWare ソフトウェアはすべてのファイルをバックグラウンドでバックアップするため、ご使用のコンピュータで他の作業を継続することができます。
 - 「バックアップの有効化」** トグルボタンを **「バックアップの無効化」** に変更すると、バックアップは無効になります。
12. バックアップの正常終了メッセージが表示された場合は、バックアップが正常に完了したことを示します。

バックアップできないファイルがあった場合、WD SmartWare ソフトウェアは次を表示します。

- バックアップされなかったファイルの数を示す警告メッセージ
- バックアップされなかったファイルの一覧と理由を、クリックにより見ることができる表示リンク

一部のアプリケーションや実行中のプロセスではファイルがバックアップされないことがあります。一部のファイルがバックアップされなかった由がわからない場合は、次のことを行ってみてください。

- 開いているファイルをすべて保存して閉じる
- メールプログラムや Web ブラウザーなどの、実行しているアプリケーションをすべて閉じる

重要：バックアップを完了するのに十分な空き容量がない場合、バックアップターゲットデバイスがいっぱいであることを示す警告メッセージが表示されます。長期的に最良なソリューションは、デバイスを長期のアーカイブストレージとし、以下を実行することです

- a. **ヘルプ** タブをクリックします。
- b. **WD ストア** リンクをクリックして、Western Digital のオンラインストアの Web サイトを表示します。
- c. **外付けハードディスクドライブ** をクリックし、予備のドライブとして最適なドライブを選択します。

13. ステップ 11 で **バックアップを無効にする** を選択した場合、**[バックアップを無効にしますか ?]** という確認プロンプトが表示され、WD SmartWare ソフトウェアによってバックグラウンドでバックアップ ジョブが実行されていることを確認できるため、バックアップ中に他の作業のためにコンピュータを継続して使用することができます。

続いて、次のいずれかをクリックします。

- 要求を破棄し、バックアップを無効にしない場合は **いいえ**
- 要求に従い、バックアップを無効にする場合は **はい**

14. カテゴリごとのファイルのバックアップを行い、バックアップソースデバイスに複数の内蔵ハードドライブまたは複数のドライブパーティションある場合は、個々のドライブでバックアップ手順を繰り返します。

5

ファイルの復元

この章では、次のトピックについて説明します。

復元機能のしくみ
ファイルの復元

復元機能のしくみ

WD SmartWare ソフトウェアにより、バックアップしたファイルをバックアップ先デバイスから簡単に復元し、これらを次のいずれかにコピーすることができます。

- バックアップ元デバイス上の元の場所
- 特定の復元コンテンツフォルダー

通常では、復元は次の 5 つの手順で行われます。

1. [ホーム] 画面で、次を選択します。
 - 復元先デバイス – 復元したファイルのコピー先とするバックアップ元デバイス
 - 復元元デバイス – 復元するファイルがあるバックアップ先デバイス
2. ファイルの復元元デバイスからバックアップボリュームを選択します。
3. 復元したファイルのコピー先を指定します。バックアップ元デバイス上の元の場所、または特定の復元コンテンツフォルダーのいずれかです。
4. 復元する対象を指定します。個々のファイルとフォルダー、またはすべてのいずれかです。
5. ファイルを復元します。

ファイルの復元

1. [ホーム] 画面の [バックアップソース] 領域で、復元したファイルをコピーする復元先（バックアップソース）デバイスを選択します。
 - a. バックアップ元セクターを使用して、パソコンの内蔵ドライブまたは Dropbox フォルダのどちらに復元したファイルをコピーするかを指定します。



- 初期設定では、パソコンの内蔵ドライブがバックアップデータの復元元として指定されています。このコンピュータアイコンは、復元先が内蔵ハードドライブ、ドライブパーティション、またはローカルに直接接続された外付けハードドライブのいずれかであることを示します。



- Dropbox オプションを選択すると、Dropbox アイコンが表示され、復元先は、Dropbox フォルダであることが示されます。

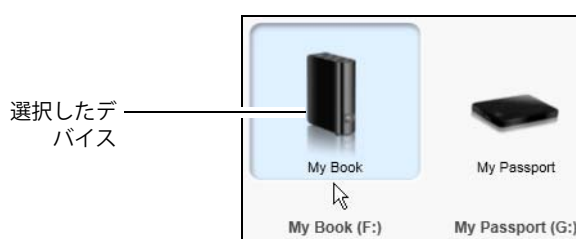


- 選択された復元先に複数の内蔵ハードドライブ、複数のドライブパーティションまたは外付けハードドライブが存在している場合は、バックアップソースデバイス選択ボックスを使用して、復元したファイルをコピーする 1 つのソースを指定します。



2. [ホーム] 画面の [バックアップ先] 領域で、次の作業を行います。

- コンピュータに複数のバックアップターゲットデバイスを接続している場合は、ファイルの復元元となる 1 つのターゲットを選択します。



- 選択したデバイスが明るい青色の背景でハイライト表示されることを確認します。
- 選択したデバイスに、ドライブパーティションまたはネットワーク共有が複数ある場合、デバイスアイコンの下にあるバックアップ先デバイスセクターを使用して、いずれかを指定します。



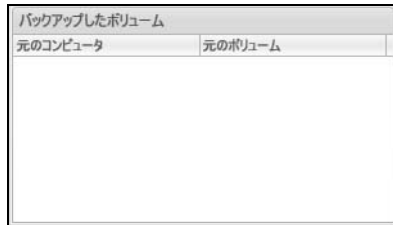
3. [復元] タブをクリックします。次のいずれかのダイアログが表示されます。

- [ファイルの復元先の選択] ダイアログ
- [復元元ボリュームの選択] ダイアログ

(p. 30 の図 10 を参照してください。)

バックアップ時の 処理...	WD SmartWare ソフトウェアでの表示...
以下の復元先（バックアップソース）デバイスから、選択した復元元（バックアップターゲット）デバイスに 1 つのバックアップボリュームを作成	[復元したファイルの保存先を選択] ダイアログ p. 49 のステップ 4 に進みます。

(続く)

バックアップ時の 処理...	WD SmartWare ソフトウェアでの表示...
以下のいずれかから、選択した復元元（バックアップターゲット）デバイスに複数のバックアップボリュームを作成 - バックアップソースデバイス上の異なる内蔵ハードドライブまたはドライブパーティション - 別のバックアップ元デバイス	「バックアップしたボリューム」選択ボックスに利用可能なボリュームが表示されている「バックアップしたボリュームを選択」ダイアログ  この場合、次の作業を行います 「バックアップしたボリューム」選択ボックスで、ファイルの復元元とするボリュームを選択します。 「次へ」をクリックして、「ファイルの復元先の選択」ダイアログを表示します。 - ステップ 4 に進みます。
選択した復元元（バックアップターゲット）デバイスでバックアップが実行されていない	「バックアップしたボリューム」選択ボックスに何も表示されていない「バックアップしたボリュームを選択」ダイアログ  バックアップボリュームを持たないデバイスからはファイルを復元することはできません。「ホーム」タブをクリックして p. 47 のステップ 2 に戻り、復元するファイルが存在するデバイスを選択します。

4. 「復元したファイルの保存先を選択」ダイアログでは、次の操作を行います。

復元したファイルの コピー先...	選択...
選択した復元先（バックアップソース）デバイス上の元の場所	「元の場所」 ご注意: p. 48 のステップ 3 で別のバックアップ元デバイスまたはリモート Dropbox フォルダからバックアップボリュームを選択していた場合、「元の場所」オプションは使用できません。
復元したコンテンツフォルダー	復元コンテンツフォルダ デフォルトのフォルダーは、ユーザー名の「マイドキュメント」フォルダーにある「復元したコンテンツ」です。 別のフォルダーを指定する場合は、次の作業を行います。 「参照」をクリックし、参照機能を使用して、新しいフォルダーを指定します。 「適用」をクリックします。

5. [次へ] をクリックして [復元したいコンテンツの選択] ダイアログを表示します。

選択したバックアップボリュームからの復元対象... (選択したバックアップボリュームから)	選択...
すべてのファイル	[すべてのファイルの復元] オプションを選択し、p. 51 のステップ 7に進みます。
選択したファイルまたはフォルダー	[一部のファイルの復元] オプションを選択して [一部のファイルの復元] 選択ボックスを開き、ステップ 6に進みます。 

6. [一部のファイルの復元] 選択ボックスで、フォルダー構成を検索して、ファイルを見つけます。ファイルやフォルダーの名前（または名前の一部を入力して）[検索] ボックスを使用することもできます。

- [古いファイルを表示] チェックボックスを選択して、バックアップしたファイルのさまざまなバージョンを表示します。



- [削除ファイルを表示] チェックボックスを選択して、削除されたファイルのバックアップ済みファイルを表示します。



- [表示] アイコンを選択して、個々のファイルを一覧表示します。
- ファイルを検索する場合は、[検索] ボックスにファイルやフォルダーの名前または名前の一部を入力し、**Enter** キーを押して、検索を行います。

検索条件を解消するには、[検索] ボックス内のテキストをすべて削除し、**Enter** キーを押します。

- 復元するファイルやフォルダーのチェックボックスを選択します。

7. **〔復元の開始〕** をクリックします。
8. 復元中の表示、および可能な作業は次のとおりです。
 - **〔復元〕** 画面には、指定した復元場所にコピーされたデータ量を示す進捗バーとメッセージが表示されます。
 - **〔復元のキャンセル〕** ボタンを使用すると、復元は停止します。
9. 復元が完了すると、「**復元完了**」メッセージが表示されます。

復元対象に選択したファイルの一部が指定した復元場所にコピーされなかった場合、「**部分的復元完了**」メッセージが表示されます。この場合、次のいずれかのメッセージが表示されます。

 - **〔ファイルは復元されませんでした〕** メッセージには、復元されなかったファイルの数と、復元の失敗に関する情報画面へのリンクが表示されます。**〔ファイルの表示〕** リンクをクリックすると、復元されなかったファイルの一覧と理由が表示されます。
 - **〔復元先がいっぱいです〕** メッセージは、復元を完了するのに十分な空き容量が選択した復元先（バックアップソース）デバイスにないことを示します。

6

ドライブのロックとロックの解除

この章では、次のトピックについて説明します。

パスワードによるドライブの保護
ドライブのロック解除
パスワードの変更
ドライブのロック機能の無効化

パスワードによるドライブの保護

他人がドライブにアクセスすることやドライブ内のファイルを第三者に開示したくない場合は、ドライブをパスワードでロックすることをお勧めします。

注意！ WD セキュリティソフトウェアでは、ユーザーのパスワードを使用して、ドライブを電子的にロックまたはロック解除します。パスワードを忘れた場合は、ドライブ上のデータにアクセスしたり、新しいデータを書き込むことができなくなります。その場合、ドライブを再度使用できるようにするには、ドライブを消去する必要があります。

1. [セキュリティ設定] ダイアログを次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上の WD セキュリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > WD セキュリティ



2. コンピュータに複数のドライブを接続している場合は、パスワードを作成するドライブを選択します。

3. パスワードを忘れた場合のデータ損失の可能性に関する警告を読みます。
4. **[了解しました]** チェックボックスをクリックして、そのリスクを受け入れることを明示します。
5. **[パスワードの選択]** 入力ボックスに最大 25 文字のパスワードを入力します。
6. **[パスワードの確認]** 入力ボックスに再度パスワードを入力します。
7. **[パスワードのヒント]** ボックスにパスワードを思い出すためのヒントを入力します。
8. このコンピューターで選択したドライブのパスワードをWD Securityソフトウェアに記憶させる場合は、**[ユーザーの自動ロック解除を有効にする]** チェックボックスを選択します。
9. **[セキュリティ設定の保存]** をクリックすると、パスワードが保存されドライブのハードウェアの暗号化が有効になります。
10. **[OK]** をクリックして、セキュリティが有効になったことを示すメッセージを閉じます。

注意！ パスワードを変更すると、ドライブは、現在の作業セッション中は「**ロック解除**」の状態を維持します。セッション終了後、WD セキュリティは、以下の処理を実行します

- ドライブをロックする：ユーザーがコンピューターをシャットダウンした場合、ドライブの接続を解除した場合、またはコンピューターがスリープモードに入った場合に、ドライブをロックします
- ドライブをロック解除するためにパスワードの入力を求める：ユーザーがコンピューターを再起動する場合、またはドライブの再接続を行う場合（パスワードの変更時に**[ユーザーの自動ロック解除を有効にする]** チェックボックスを選択しなかった場合）、ドライブをロック解除するためにパスワードの入力が求められます。

ドライブのロック解除

[ユーザーの自動ロック解除を有効にする] チェックボックスを選択しなかった場合、ドライブ上のファイルに他のユーザーがアクセスできないようにパスワードを設定すると、以下の操作を行うときには必ずパスワードを入力してドライブをロック解除する必要があります。

- コンピューターをシャットダウンし、再起動する
- ドライブの接続を解除し、コンピューターに再接続する
- コンピューターがスリープモードを終了する

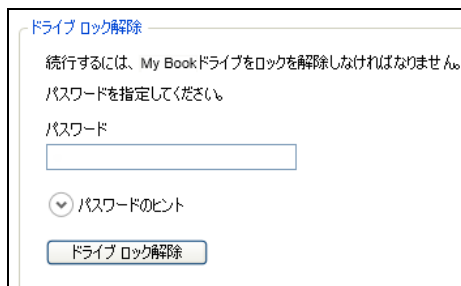
コンピューターに WD セキュリティソフトウェアをインストールしていない場合でも、ロック解除は必要です。

コンピューターのソフトウェア設定に応じて、以下の 3 つの方法のいずれかの方法を選択し、ドライブをロックします。

- WD セキュリティまたは WD ドライブユーティリティを使用する
- WD SmartWare ソフトウェアを使用する
- WD ドライブアンロックユーティリティを使用する

WD セキュリティまたはWD ドライブユーティリティでドライブのロックを解除する

コンピュータをシャットダウンして再起動したり、ドライブを取り外してコンピュータに再接続した場合に WD セキュリティまたは WD ドライブユーティリティのいずれかを起動すると、[ドライブロック解除] ダイアログが表示されます。

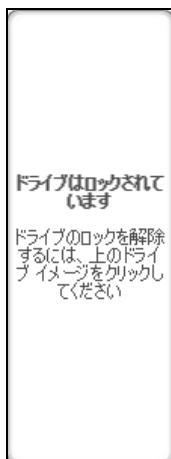


この画面は以下のいずれかの場合に表示されます。

- 1 台のドライブのみをロックし、コンピュータに接続されている場合（自動的に実行されます）
 - 複数のドライブがコンピュータに接続されている場合で、WD セキュリティまたは WD ドライブユーティリティを使用した際に、いずれかの画面でロックしたドライブを選択した場合
1. [ドライブロック解除] 画面が表示されない場合は、以下のいずれかの操作を行います。
 - デスクトップ上の WD セキュリティショートカットアイコン（アプリケーションのインストール時に作成している場合）をクリック、または [スタート] > [すべてのプログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Security] を選択
 - デスクトップ上の WD ドライブユーティリティアイコン（アプリケーションのインストール時に作成している場合）をクリック、または [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Drive Utilities] を選択
 2. コンピュータに複数のドライブを接続している場合は、ロックを解除するドライブを選択します。
 3. [ドライブロック解除] 画面では、以下の操作を行います。
 - a. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
 - b. [ドライブのロック解除] をクリックします。

WD SmartWare ソフトウェアを使用してドライブのロックを解除します。

パスワードの作成時に「**ユーザーの自動ロック解除を有効にする**」チェックボックスを選択しなかった場合、コンピューターをシャットダウンや再起動するたびに、またはドライブをコンピューターに再接続するたびに、WD SmartWare ソフトウェアは、ドライブ用のコンテンツゲージの場所に「ドライブはロックされています」メッセージを表示します。



1. 「WD SmartWare ドライブをロック解除します」ダイアログが自動的に表示されない場合は、「ドライブはロックされています」メッセージの上部にあるドライブイメージをクリックして、ダイアログを表示します。



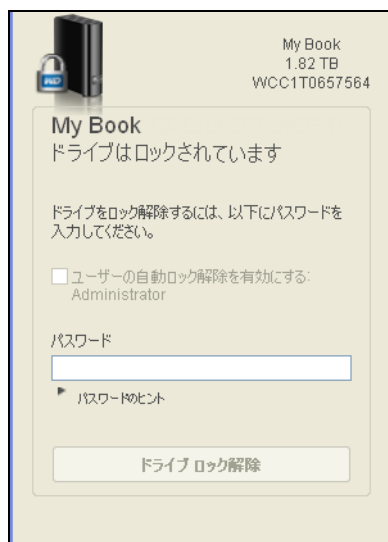
2. 「パスワード」ボックスにパスワードを入力します。
3. 「ロック解除」をクリックします。

WD Drive Unlock Utility でドライブを解除

パスワードで保護されたドライブを WD ソフトウェアがインストールされていないコンピュータに接続する場合、WD Drive Unlock Utility を使用することでドライブのロックを解除することができます。WD Drive Unlock Utility は、コンピュータのファイル管理ユーティリティで表示されるバーチャル CD ドライブ上にあります。

1. 次のいずれかの方法で WD Drive Unlock Utility を起動します。

- コンピュータのファイル管理ユーティリティを使って、WD ロック解除バーチャル CD を開き、WD Drive Unlock.exe ファイルをダブルクリックする
- [スタート] > [マイコンピュータ] をクリックし、[リムーバブル記憶域があるデバイス] の下にある WD Unlocker バーチャル CD をダブルクリックします



2. [WD ドライブロック解除] 画面で、以下の操作を行います。

- a. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
- b. このコンピュータでのパスワードを WD Security ソフトウェアに記憶させる場合は、[ユーザーの自動ロック解除を有効にする] チェックボックスを選択します。
- c. [ドライブロック解除] をクリックします。
- d. [ドライブは現在ロックが解除されています] で、[終了] をクリックして WD Drive Unlock Utility 画面を閉じます。

パスワードの変更

1. [セキュリティを変更] ダイアログを次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上の WD セキュリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > WD セキュリティ

The screenshot shows the 'WD Security' dialog box with the title 'ヘルプ' (Help). At the top, there is an icon of a hard drive labeled 'My Book 1.82 TB My Book (F:)'. Below this, the section 'セキュリティの変更' (Change Security) is active. It contains the instruction: '現在のセキュリティ設定を変更するには、以下にパスワードを入力してください。' (To change the current security settings, enter the password below). There is a 'パスワード' (Password) input field. Below it is a dropdown menu for 'パスワードのヒント' (Password Hint). Underneath are three radio buttons: 'セキュリティの削除' (Delete Security), 'パスワードの変更' (Change Password), and 'パスワードの選択' (Select Password). The 'パスワードの変更' option is selected. Below these are three input fields: 'パスワードの選択' (Select Password), 'パスワードの確認' (Confirm Password), and 'パスワードのヒント' (Password Hint). At the bottom, there is a checkbox for 'ユーザーの自動ロック解除を有効にする: Administrator' (Enable automatic unlock for user: Administrator) and a button labeled 'セキュリティ設定の更新' (Update Security Settings).

2. コンピュータに複数のを接続している場合は、パスワードを変更するドライブを選択します。
3. [パスワード] 入力ボックスに現在のパスワードを入力します。
4. [パスワードの変更] オプションを選択します。
5. [パスワードの選択] ボックスに最大 25 文字のパスワードを入力します。
6. [パスワードの確認] ボックスに再度新しいパスワードを入力します。
7. [パスワードのヒント] ボックスに新しいパスワードを思い出するためのヒントを入力します。
8. [ユーザーの自動ロック解除を有効にする] チェックボックスを選択または選択解除して、このコンピュータで選択したドライブの新しいパスワードを WD セキュリティソフトウェアに記憶させるかどうかを指定します。
9. [セキュリティ設定の更新] をクリックします。

10. [OK] をクリックして、セキュリティが有効になったことを示すメッセージを閉じます。

注意！ パスワードを変更すると、ドライブは、現在の作業セッション中は「ロック解除」の状態を維持します。セッション終了後、WD セキュリティは、以下の処理を実行します：

- ドライブをロックする：ユーザーがコンピュータをシャットダウンした場合、ドライブの接続を解除した場合、またはコンピュータがスリープモードに入った場合に、ドライブをロックします
- ドライブをロック解除するためにパスワードの入力を求める：ユーザーがコンピュータを再起動する場合、またはドライブの再接続を行う場合（パスワードの変更時に「ユーザーの自動ロック解除を有効にする」チェックボックスを選択しなかった場合）、ドライブをロック解除するためにパスワードの入力が求められます

ドライブのロック機能の無効化

1. [セキュリティを変更] ダイアログを次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上の WD セキュリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > WD セキュリティ



2. コンピュータに複数のものを接続している場合は、パスワード認証を無効にするドライブを選択します。
3. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。
4. [セキュリティの削除] オプションを選択します。
5. [セキュリティ設定の更新] をクリックします。

7

ドライブの管理とカスタマイズ

この章では、次のトピックについて説明します。

WD Quick View アイコンの使用

WD SmartWare を起動する

ドライブステータスのチェック

ドライブの安全な接続解除

アイコンアラートの監視

ドライブのスリープタイマーの設定

ドライブのユーザー登録

ドライブの健全性チェック

ドライブの消去

WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元

WD Quick View アイコンの使用

WD SmartWare をインストールすると、WD Quick View アイコンが Windows タスクバーのシステムトレイに表示されます。



このアイコンを使用することで、次の作業を行うことができます。

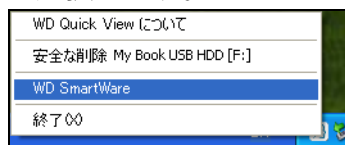
- WD SmartWare ソフトウェアの起動
- ドライブステータスをチェックする
- ドライブを安全に取り外す
- アイコンアラートの監視

以下のセクションでは、アイコンの使用方法、および上記の作業を行う別の方法について説明します。

WD SmartWare を起動する

次により、WD SmartWare ソフトウェアを起動することができます。

- タスクバーで WD Quick View アイコンを左または右クリックし、**WD SmartWare** を選択します。



- 以下をクリックします。

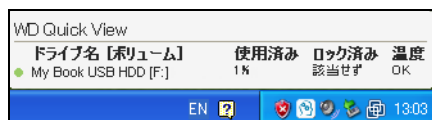
[スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > **WD SmartWare** > **[WD SmartWare]**

- デスクトップ上の WD SmartWare のショートカットアイコンをクリック (インストール時に作成している場合) :



ドライブステータスのチェック

タスクバーの WD Quick View アイコン上にポインタを重ねると、ドライブ容量とドライブ温度のステータス、ドライブのロック状態を確認することができます。

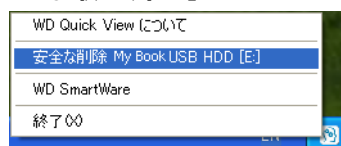


ドライブの安全な接続解除

注意！ データの損失を防ぐため、ドライブをシャットダウンまたは接続を解除する前に、実行中のウィンドウとアプリケーションはすべて閉じてください。

以下のいずれかの方法で、ドライブを安全に取り外すことができます。

- タスクバーの WD Quick View アイコンを右クリックし、お使いのドライブで **[安全な取り外し]** オプションをクリックします。



- WD SmartWare の [ホーム] 画面でドライブアイコンを右クリックし、**[安全な取り外し]** オプションをクリックします。



ドライブの電源が落ちる音が確認できます。

電源 / 動作 LED がオフになるまで待ち、その後にドライブの接続をコンピューターから解除します。

アイコンアラートの監視

タスクバーの WD Quick View アイコンの点滅は、次のようなドライブステータスを示します。

WD Quick View アイコンの点滅状態...	ドライブの想定される状態...
緑と白	デバイスはロックされているか、WD SmartWare ソフトウェアが対応していない形式でフォーマットされています (Windows 環境における非 Windows フォーマット)。
赤と白	デバイスが過熱しています。 ドライブの電源を切って、60 分間冷却してください。電源を再びオンにした後、まだ問題がある場合は、WD サポートにご連絡ください。

ドライブのスリープタイマーの設定

ドライブのスリープタイマーにより、ハードディスク上で何も処理が行われずに一定の時間が経過した後、ドライブをオフにして電力を節約し、ライブの磨耗を最小限に抑えます。

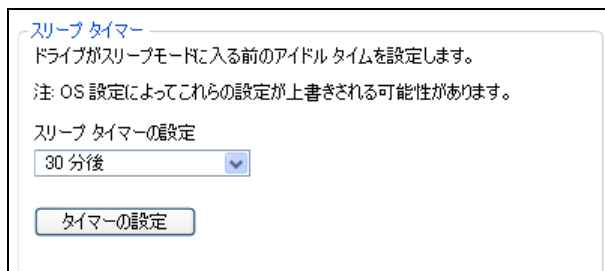
1. WD ドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上の WD ドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- **[スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Drive Utilities]**

p. 9 の図 4 を参照してください。

2. コンピュータに複数のものを接続している場合は、スリープタイマーを設定するドライブを選択します。

3. **[スリープタイマー]** をクリックし、**[スリープタイマー]** ダイアログを表示します。



4. **[スリープタイマー]** ダイアログで、次の操作を行います。

- a. **[スリープタイマーの設定]** ボックスで、ドライブをオフにするまでの時間の長さを選択します。
- b. **[タイマーの設定]** をクリックします。

ドライブのユーザー登録

WD Drive Utilities から、本製品のユーザー登録を行うことができます。本製品をご登録いただくことで、保証期間中テクニカルサポートを無料でご利用頂けます。また、最新の WD 製品情報をお届けします。

1. コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。

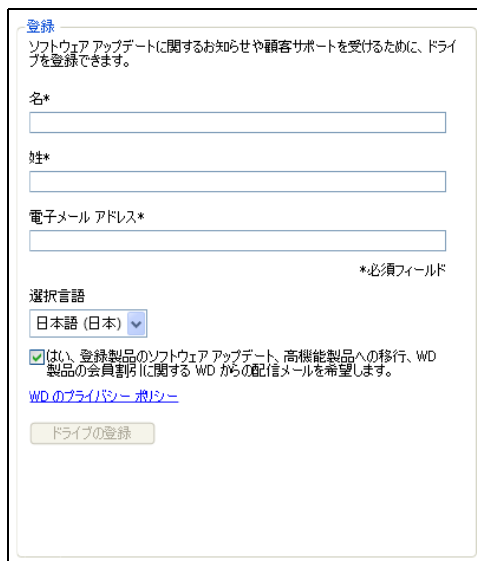
2. WD Drive Utilities を次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上の WD ドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- **[スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Drive Utilities]**

p. 9 の図 4 を参照してください。

3. コンピュータに複数のものを接続している場合は、ドライブの状態を確認するデバイスを選択します。

4. **「登録」** をクリックして、**「登録」** ダイアログを表示します。



The registration dialog box contains the following elements:

- 登録** (Registration) title
- ソフトウェアアップデートに関するお知らせや顧客サポートを受けるために、ドライブを登録できます。(To receive notices about software updates and customer support, please register your drive.)
- Input fields for **名*** (Name), **姓*** (Surname), and **電子メール アドレス*** (Email address), all marked as ***必須フィールド** (Required fields).
- 選択言語** (Select language) dropdown menu with **日本語 (日本)** (Japanese (Japan)) selected.
- Checkbox for **はい、登録製品のソフトウェアアップデート、高機能製品への移行、WD 製品の会員割付に関する WD からの配信メールを希望します。** (Yes, I want to receive WD distribution emails regarding software updates for registered products, migration to high-performance products, and WD member discounts for WD products.).
- Link for **WD のプライバシー ポリシー** (WD Privacy Policy).
- ドライブの登録** (Register drive) button.

5. **「登録」** ダイアログで、以下の操作を行います。

- 「名」** 入力ボックスに名前を入力します。
- 「姓」** 入力ボックスに名字を入力します。
- 「メールアドレス」** ボックスにメールアドレスを入力します。
- 「選択言語」** ボックスで言語を選択します。
- 「はい、登録製品のソフトウェアアップデート...」** チェックボックスをオンまたはオフにして、ソフトウェアアップデート、高機能製品情報、割引価格などの案内を受け取るか設定することができます。
- 「ドライブの登録」** をクリックします。

ドライブの健全性チェック

WD ドライブユーティリティは、本製品のパフォーマンスを確保するために、3 つの診断ツールを備えています。ドライブが正しく動作していないか心配する場合は、次のテストを実行してください。

- SMART ステータス

SMART は、ドライブの主な内部パフォーマンス属性を継続的にモニタリングする障害予測機能です。たとえば、ドライブ温度の上昇、ノイズまたはみ取り / 書き込みエラーなどの増加が検出されると、ドライブに深刻な障害が生じつつあることの目安になります。事前にアラートを把握することにより、実際に障害が発生する前にデータを別のドライブに移動するなどの予防措置をとることが可能になります。

ドライブの状態に関する SMART ステータスチェックの結果は、合格または不合格として判定されます。

- クイックドライブテスト

ドライブには、ドライブの性能に重要な問題がないかをチェックする Data Lifeguard™ 診断ユーティリティが搭載されています。

ドライブの状態に関するクイックドライブテストの結果は、合格または不合格として判定されます。

- 完全ドライブテスト

最も総合的なドライブ診断は、完全ドライブテストです。完全ドライブテストでは、各セクターのエラー状態の有無を入念にテストし、必要に応じて不良セクターにマーカーを挿入します。

ドライブに問題が発生する前に、ドライブ診断とステータスチェックを定期的に行うことをお勧めします。SMART ステータスチェックと簡易ドライブテストは非常に高速なため、最小限の負荷で高レベルの保証を提供します。次に、ファイルの書き込みやアクセス時にディスク エラー状態が発生した場合は、必ず 3 つのテストをすべて実行してください。

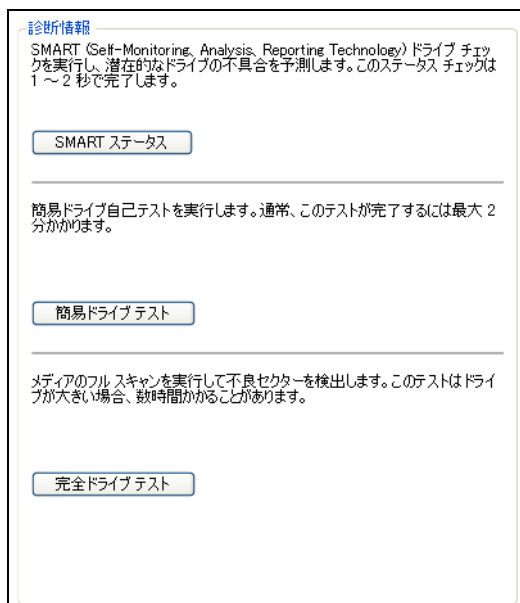
1. WD ドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：

- デスクトップ上の WD ドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- **[スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Drive Utilities]**

p. 9 の図 4 を参照してください。

2. コンピュータに複数のものを接続している場合は、ドライブの状態を確認するデバイスを選択します。

3. **[診断]** をクリックして、**[診断情報]** ダイアログを表示します。



4. **[診断情報]** ダイアログで、実行したいテストのボタンをクリックします。

- **SMART ステータス**
- **簡易ドライブテスト**
- **完全ドライブテスト**

ドライブの消去

注意！ ドライブを完全に消去すると、ドライブにあるすべてのデータが削除されます。ドライブを消去する前に、ドライブ上に必要なデータがないことを必ず確認してください。

ご注意：ドライブを完全に消去すると、WD ソフトウェア、すべてのサポートファイル、ユーティリティ、ユーザーマニュアルもすべて削除されます。ドライブを消去した後では、これらのファイルをダウンロードすることで、ドライブを元の構成に復元することができます。

WD Drive Utilities には、ドライブを消去するための 2 つの方法が用意されています。ドライブのロックが解除されているか、ロックされているかによって、使用方法が以下のように異なります。

ドライブの状態...	目的...	参照...
ロックが解除されている	ドライブを消去する	次のセクションの「ドライブ消去機能を使用する」。
ロックされている	パスワードを忘れたまたは紛失したため、ドライブの消去が必要	「WD Drive Unlock Utility を使用する」 p. 65

ドライブ消去機能を使用する

ドライブがロックされていない場合にドライブを消去するには、以下の手順を実行します。

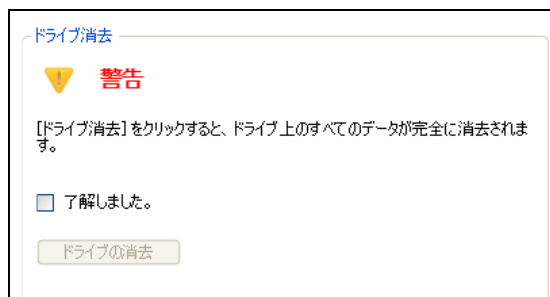
1. WD ドライブユーティリティを次のいずれかの方法で開きます：

- デSKTOP 上の WD ドライブユーティリティのショートカットアイコンをクリック（インストール時に作成している場合）
- [スタート] > [(すべての) プログラム] > [Western Digital] > [WD Apps] > [WD Drive Utilities]

p. 9 の図 4 を参照してください。

2. コンピュータに複数のを接続している場合は、ドライブの状態を確認するデバイスを選択します。

3. [ドライブ消去] をクリックして、[ドライブ消去] ダイアログを表示します。



4. [ドライブ消去] ダイアログで、以下の操作を行います。

- ドライブ消去に伴うデータ損失に関する警告を読みます。
- [了解しました] チェックボックスをクリックして、そのリスクを受け入れることを明示します。
- [ドライブの登録] をクリックします。

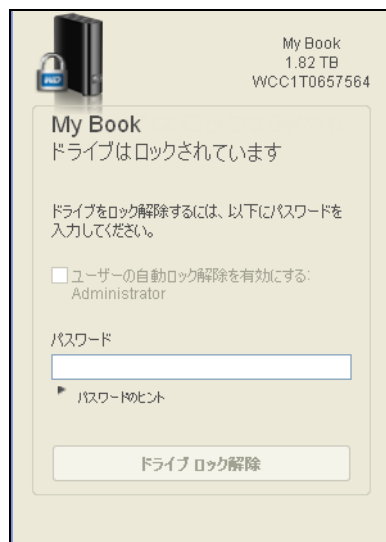
ドライブ消去の操作が完了したら、<http://support.wd.com> にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID 7「ドライブにおけるソフトウェアとディスクイメージのダウンロードと復元の詳細について」を参照してください。

ご注意：ドライブを消去するとパスワードも削除されます。パスワードを使ってドライブを保護していた場合は、WD ソフトウェアとディスクイメージを復元した後、パスワードを再度作成します（「パスワードによるドライブの保護」 p. 52 を参照してください。）

WD Drive Unlock Utility を使用する

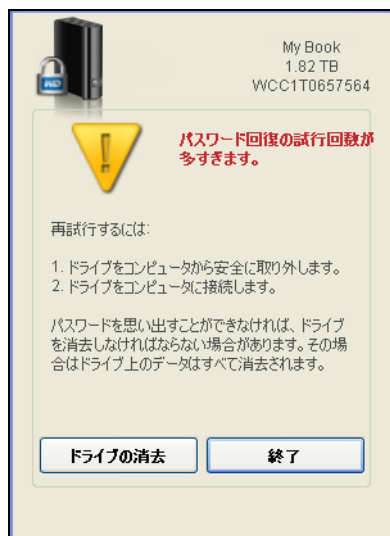
パスワードを忘れた、またはパスワードを失くしたため、ロックされたドライブを消去する場合は、次の操作を行います。

1. 次のいずれかの方法で WD ドライブのロック解除ユーティリティを起動します。
 - ご使用のコンピュータのファイル管理ユーティリティを使用して WD Unlocker バーチャル CD を開き、「Unlock.exe」をダブルクリックします。
 - [スタート] > [マイコンピュータ] をクリックし、[リムーバブル記憶域があるデバイス] の下にリストされている WD Unlocker バーチャル CD をダブルクリックします。

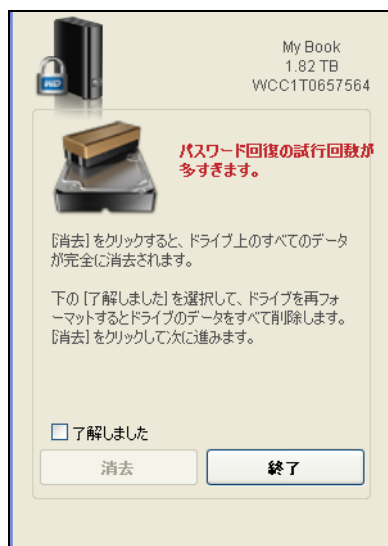


2. ドライブのロックを解除するには、次の作業を 5 回繰り返します。
 - a. [パスワード] ボックスにパスワードを入力します
 - b. [ドライブロック解除] をクリックします。

3. 無効なパスワードを 5 回入力すると、[パスワード試行回数が多すぎます] というダイアログが表示されます。



4. [ドライブの消去] をクリックすると、「ドライブにあるすべてのデータが削除されます」と警告が表示されます。



5. 警告を読み、[了解しました] チェックボックスをオンにして、そのリスクを受け入れることを表明します。
6. [消去] をクリックします。

ドライブ消去の操作が完了したら、<http://support.wd.com> にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID 7「ドライブにおけるソフトウェアとディスクイメージのダウンロードと復元の詳細について」を参照してください。

ご注意：ドライブを消去するとパスワードも削除されます。パスワードを使ってドライブを保護したい場合は、WD ソフトウェアとディスク イメージを復元した後、パスワードを再度作成します（「パスワードによるドライブの保護」 p. 52 を参照してください。）

WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元

ドライブの消去または再フォーマットを行うと、すべてのデータが削除される以外にも、WD ソフトウェア、サポートファイル、ユーティリティオンラインヘルプ、ユーザーマニュアルなどのファイルもすべて削除されます。

コンピューターでWDソフトウェアを削除したものの再インストールする必要がある場合、またはドライブを別のコンピューターに移動してそこでソフトウェアをインストールする必要がある場合は、WD ソフトウェアとディスクイメージをドライブに復元する必要があります。ドライブの消去または再フォーマットが完了した後の作業については、<http://support.wd.com> にアクセスし、ナレッジベースの回答 ID 7 を参照してください。

8

ソフトウェアの管理とカスタマイズ

この章では、次のトピックについて説明します。

バックアップ バージョンの数を指定
別の復元コンテンツフォルダを指定する
ソフトウェアの更新のチェック
DropBox アカウントの設定
WD ソフトウェアのアンインストール

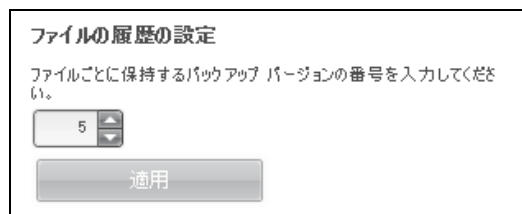
バックアップ バージョンの数を指定

WD SmartWare ソフトウェアでは、ファイルごとに最大 25 の以前世代のファイルバージョンを保持しておくことができます。誤ってファイルを上書きしたり削除した場合、または数バージョン前のファイルを見る場合でも、WD SmartWare ソフトウェアがコピーを保持しています。ファイルごとに指定した数の最新のバージョンがいつでも復元可能です。1 から 25 までを選択してその世代数分のファイルを保存しておくことができます。

より多くの世代のファイルを保存することで、

- より昔のファイルに遡ってファイルの復元が可能。
- 但し、より多くのディスク容量を消費します。

1. **[設定]** タブをクリックして、**[ソフトウェア設定]** 画面を表示します (p. 32 の図 11 を参照してください)。
2. **[ソフトウェア設定]** 画面で、**[ファイルの履歴]** をクリックし、**[ファイルの履歴の設定]** ダイアログを表示します。



3. **[ファイルの履歴の設定]** ダイアログで、次の作業を行います。
 - a. 選択ボックスを使用して、ファイルごとに保持しておくバックアップバージョンの数 (1 ~ 25) を指定します。
 - b. **[適用]** をクリックします。

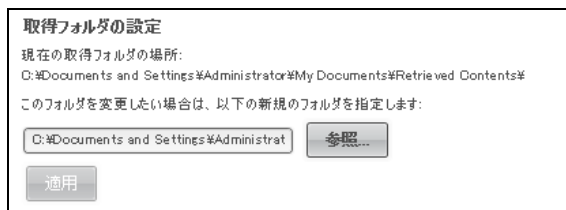
別の復元コンテンツフォルダを指定する

復元を開始するときに、復元したファイルを次のどちらに保存するかを選択できます。

- コンピュータ上の元の場所
- 復元したコンテンツフォルダー

WD SmartWare ソフトウェアのデフォルト設定では、**[マイドキュメント]** フォルダーに**[復元したコンテンツ]** サブフォルダーを作成して使用します。別のフォルダを指定する場合は、次の操作を行います。

1. 新しいフォルダーを作成するか、使用する既存のフォルダーを決めます。
2. [設定] タブをクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します (p. 32 の図 11 を参照してください)。
3. [ソフトウェア設定] 画面で、[復元フォルダ] をクリックし、[復元フォルダの設定] ダイアログを表示します。



4. [復元フォルダーの設定] ダイアログで、次の作業を行います。
 - a. [参照] をクリックし、参照機能を使用して、新しい復元フォルダーを指定します。
 - b. [適用] をクリックします。

ソフトウェアの更新のチェック

[ソフトウェアの更新] オプションを有効にした場合、WD SmartWare ソフトウェアの更新が自動的にチェックされます。これにより、最新バージョンのソフトウェアを常に使用することになります。[ソフトウェアの更新] オプションを有効、または無効にするには以下の手順を実行します。

1. [設定] タブをクリックし、[ソフトウェアの設定] をクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します (p. 32 の図 11 を参照)。
2. [ソフトウェア設定] 画面で [ソフトウェアの更新] をクリックして [ソフトウェアの更新] ダイアログを表示します。



3. [ソフトウェアの更新] ダイアログで、以下の操作を行います。
 - a. [WD SmartWare ソフトウェアアップデートを自動的に確認する] チェック ボックスをオンまたはオフにします。
 - b. ソフトウェアの更新をここでチェックする場合、[今すぐチェック] をクリックします。

DropBox アカウントの設定

バックアップソースまたはターゲットデバイスとしてリモート Dropbox フォルダを使用する前に、WD SmartWare Pro ソフトウェアによるアクセスのための Dropbox アカウントを設定する必要があります。

1. [設定] タブをクリックし、[ソフトウェアの設定] をクリックして、[ソフトウェア設定] 画面を表示します (p. 32 の図 11 を参照)。

2. [ソフトウェア設定] 画面で **[Dropbox アカウント]** をクリックして [Dropbox アカウント] ダイアログを表示します。



3. **[アカウントの選択]** をクリックして、[Dropbox ログインが必要] ダイアログを表示します。



4. [Dropbox ログインが必要] ダイアログで、次の作業を行います。

- a. **[サインイン]** をクリックします。

WD SmartWare Pro ソフトウェアが、ユーザーの代わりに、Dropbox 接続要求を行い、Web ブラウザーを使用して Dropbox の Web サイト (<https://www.dropbox.com/>) にアクセスします。

- b. ログイン認証情報を記録するようにアカウントを設定していない場合は、Dropbox の Web サイトで、メールアドレスとパスワードを入力し、**[サインイン]** をクリックして、WD SmartWare Pro ソフトウェアからの接続要求を確認します。

- c. **[許可]** をクリックして接続要求を受け入れます。

[成功!] が表示されれば、WD SmartWare Pro ソフトウェアからリモート Dropbox フォルダへのアクセスが許可されたことになります。

- d. **完了** をクリックして接続を終了し、**Dropbox ログインが必要** ダイアログを閉じて、現在の Dropbox アカウント画面を更新します。

ご注意：リモートの Dropbox フォルダーを、後に別のものに変更する場合でも手順は同じです。この場合、WD SmartWare Pro ソフトウェアは、**別の Dropbox アカウントへの切り替え** ダイアログを表示します。このダイアログでは、Dropbox アカウントを変更すると、現在のアカウントを使用してバックアップ元またはバックアップ先のデバイスとして設定していたバックアップが無効になることが示されます。



WD ソフトウェアのアンインストール

重要：WD SmartWare ソフトウェアのアンインストールにより、すべての既存のバックアップジョブ設定が削除されます。バックアップファイルは存在し続けますが、WD SmartWare ソフトウェアの再インストール後、バックアップのたびに手動で有効にする必要があります。（「ファイルのバックアップ」 p. 35 を参照してください。）

オペレーティングシステムの**アプリケーションの追加と削除**を使用して、コンピューターから WD ソフトウェアをアンインストールします。

Windows XP でアンインストール

1. **スタート** > **コントロールパネル** の順にクリックします。
2. **プログラムの追加と削除** をダブルクリックします。
3. アンインストールする WD ソフトウェアを選択します。
 - WD SmartWare
 - WD セキュリティ
 - WD ドライブユーティリティ
4. **削除** をクリックします。
5. **よろしいですか...** 確認画面で、**はい** をクリックします。

Windows Vista または Windows 7 でアンインストール

1. **スタート** > **コントロールパネル** の順にクリックします。
2. **プログラムと機能** をダブルクリックします。

3. **「プログラムのアンインストール」** をクリックし、アンインストールする WD ソフトウェアのアプリケーションまたはアイコンを選択します。
 - **WD SmartWare**
 - **WD セキュリティ**
 - **WD ドライブユーティリティ**
4. **「アンインストール/変更」** をクリックし、**「続行しますか...」** 確認画面で **「はい」** をクリックします。

Windows 8 でアンインストール

1. **「スタート」** 画面で、アンインストールする WD ソフトウェアのタイルを右クリックします。
 - **WD SmartWare**
 - **WD セキュリティ**
 - **WD ドライブユーティリティ**
2. Windows のタスクバーで、**「アンインストール」** を選択します。
3. **「よろしいですか...」** 確認画面で、**「はい」** をクリックします。

9

Mac でドライブを使用する

My Book ドライブは、Windows OS との互換性を保つために、単一の NTFS パーティションとしてフォーマットされています。Mac OS X オペレーティングシステムでこのドライブを使用する場合、また必要に応じて Time Machine を使用する場合は、まずドライブを単一の HFS+J パーティションに再フォーマットする必要があります。

この章では、次のトピックについて説明します。

ドライブの再フォーマット
WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元

ドライブの再フォーマット

注意！ ドライブを再フォーマットすると、ドライブの内容はすべて消去されます。ドライブにすでにファイルが保存されている場合は、再フォーマット前に必ずバックアップしてください。

<http://support.wd.com> にアクセスして、ドライブの再フォーマットの詳細について、ナレッジベースの回答 ID 3865 を参照してください。

ドライブの再フォーマットに関して、詳細は、「トラブルシューティング」p. 45 をご覧ください。

WD ソフトウェアおよびディスクイメージの復元

Mac 版の WD Drive Utilities と WD Security ソフトウェアのダウンロード、およびディスクイメージの復元の詳細については、Mac コンピューターで使用するためにドライブの再フォーマット完了したら、<http://support.wd.com> をご覧になり、ナレッジベースの回答 ID 7 を参照してください。

WD SmartWare ソフトウェアは、本ドライブモデルを Mac コンピューターで使用する場合にはご利用いただけません。

トラブルシューティング

この章では、次のトピックについて説明します。

ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット
よくある質問

この製品のインストール、または使用中に問題が起きた場合は、このトラブルシューティングセクションを参照してください。より詳細な情報が必要な場合は、サポートウェブサイト「<http://support.wd.com>」にアクセスしてナレッジベースでさらに検索してください。

ドライブのインストール、パーティション作成、およびフォーマット

方法	Answer ID
• Windows (8、7、Vista、XP) および Mac OS X で WD ドライブのパーティション作成やフォーマットする	3865
• Mac OS X GPT パーティションを Windows XP で NTFS パーティションに変換する	3645
• Mac OS X GPT パーティションを Windows 7 または Vista で NTFS パーティションに変換する	3647
• WD 製品用のソフトウェア、ユーティリティ、ファームウェアアップデート、ドライブをダウンロード（ダウンロードライブラリから）	1425
• FAT32* で WD 外付けハード ドライブをフォーマットする（Windows および MAC OS X）	291

*FAT32 ファイル システムでは各ファイルの最大のサイズは4 GB であり、Windows では32 GB より大きいパーティションは作成できません。ドライブを再フォーマットしてFAT32 で32GB を超えるパーティションを作成する場合は、External USB/FireWire FAT32 Formatting Utility を<http://support.wd.com/product/download> からダウンロードしてください。

Windows のユーザーは、Windows ディスク管理ユーティリティ、あるいはサードパーティソフトウェアを使ってドライブをNTFSに再フォーマットすることファイルサイズの制限を克服できます。詳細については、以下を参照してください。

- <http://support.wd.com> の回答ID 291
- support.microsoft.com の記事ID 314463 および# 184006
- 適正なサードパーティソフトウェア説明書あるいはサポート団体

よくある質問

- Q:** ドライブがマイコンピュータやコンピュータのデスクトップに表示されないのはなぜですか？
- A:** システムにUSB3.0、またはUSB2.0PCIアダプタカードが装着されている場合、WD製USB3.0 外付けストレージ製品を接続する前にドライバがインストールされていることを確認してください。USB3.0 または USB2.0 ルートハブとホストコントローラのドライバがインストールされていないと、ドライブは正しく認識されません。インストール手順については、アダプタ カードの製造元にお問い合わせください。

Q: コンピュータを起動する前にUSB ドライブを接続したとき、PC が起動しないのはなぜですか？

A: システム設定によっては、コンピュータがWD製外付けUSBドライブから起動しようとする場合があります。システムのマザーボード BIOS 設定のマニュアルを参照して、この機能を無効に設定してください。あるいは、<http://support.wd.com> にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID 1201 を参照してください。外付けハードドライブの起動については、システムのマニュアルを参照するか、システムの製造元に問い合わせてください。

Q: データ転送レートが遅いのはなぜですか？

A: USB 3.0、または USB 2.0 アダプタカードのドライバが正しくインストールされていないか、またはシステムが USB 3.0、または USB 2.0 に対応していないためにシステムが USB 1.1 の速度で動作している可能性があります。

Q: システムがUSB 3.0、またはUSB 2.0 に対応しているかどうかは、どうやったらわかりますか？

A: USB カードの説明書を参照するか、USB カードの製造元にお問い合わせください。

ご注意：USB3.0、または USB2.0 コントローラがシステムのマザーボードに内蔵されている場合は、そのマザーボード対応のチップセットを必ずインストールしてください。詳細に関しては、マザーボードまたはシステムのマニュアルを参照してください。

Q: USB3.0、またはUSB2.0 デバイスをUSB1.1 ポートまたはハブに差し込むとどうなりますか？

A: USB 3.0およびUSB 2.0はUSB1.1と下位互換性があります。USB1.1 ポートまたはハブに接続すると、USB3.0、または USB2.0 デバイスは USB1.1 の最高速度 12Mbps で動作します。

ご使用のシステムに PCI Express スロットが装備されている場合、PCI Express アダプタを装着して USB 転送レートを向上させることができます。取り付け手順および詳細は、カードの製造元にお問い合わせください。

A

SES ドライバのインストール

WD ソフトウェアをインストールしない場合、ドライブをコンピューターに接続するたびにハードウェアポップアップウィザードが表示されないようにするために、Windows コンピューターに SES (SCSI Enclosure Services) ドライバをインストールしておく必要があります。

ご注意：SES ドライバは、WD ソフトウェアをインストールする際に自動的にインストールされます。

この章では以下のトピックについて説明します。

Windows XP コンピュータにインストールする

Windows Vista にインストールする

Windows 7 と Windows 8 コンピュータにインストール

Windows XP コンピュータにインストールする

p. 6 の図 3 に示すように、ドライブを接続すると、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。

ご注意：自動再生が有効になっている場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面と同時に 2 つの追加の画面が表示される場合があります。表示された場合は、これらの画面は閉じてください。

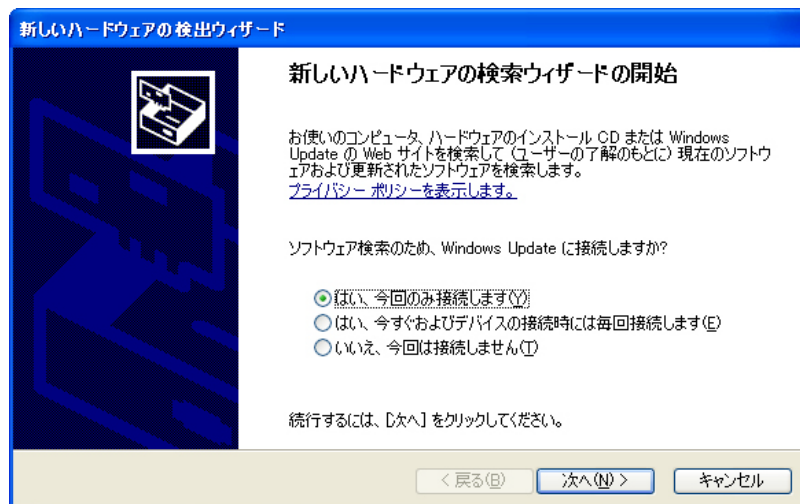
[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面を使用して、以下のいずれかの方法で SES ドライバをインストールできます。

- コンピュータがインターネットに接続されている場合は自動的にインストール
- コンピュータがインターネットに接続されているかどうかに関係なく、手動でインストール

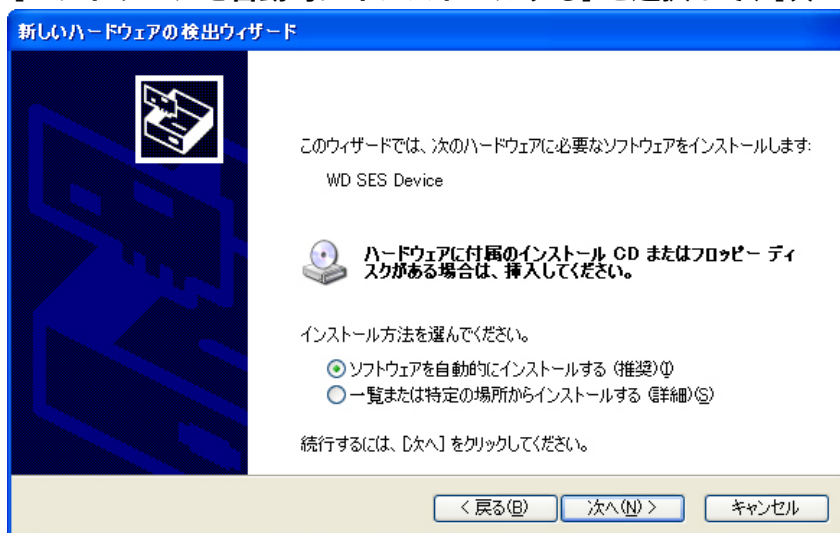
ドライバを自動的にインストール

SES ドライバを自動的にインストールするには、コンピュータをインターネットに接続する必要があります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、**[はい、今回のみ接続します]** を選択して、Windows XP が Windows Update に接続できるようにします。



3. [次へ] をクリックします。
4. [ソフトウェアを自動的にインストールする] を選択して、[次へ] をクリックします。



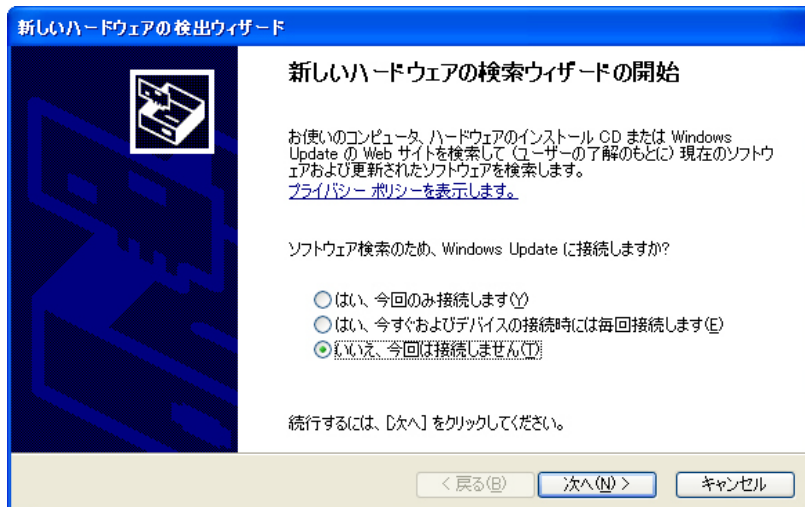
5. インストールが完了したら、[完了] をクリックします。



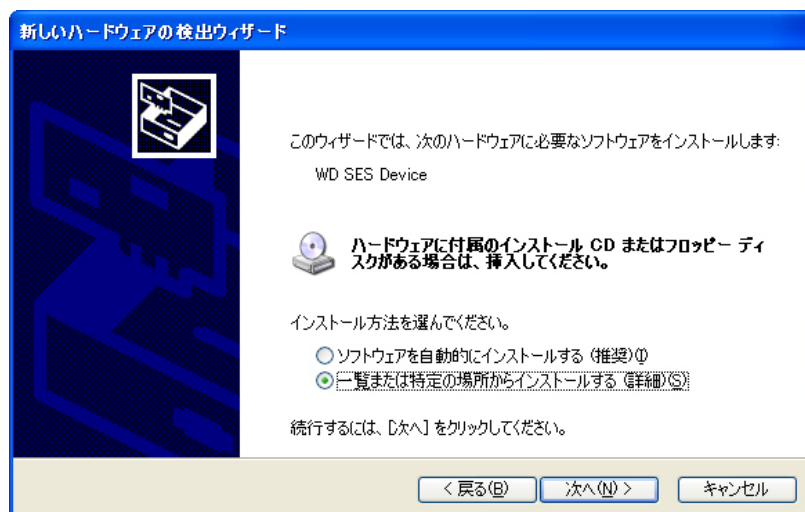
ドライバを手動でインストール

コンピュータがインターネットに接続していない場合は、ドライバを手動でインストールできます。

1. [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、[いいえ、今回は接続しません] を選択し、Windows Update への接続を行わないようにします。

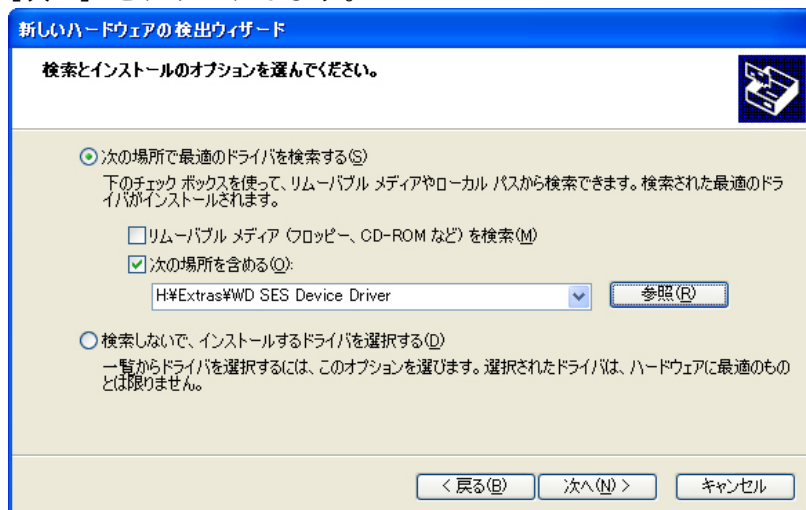


2. [次へ] をクリックします。
3. [一覧または特定の場所からインストールする] を選択し、[次へ] をクリックします。



4. [マイコンピュータ] を参照し、以下の手順を実行します。
 - a. My Book ドライブをダブルクリックします。
 - b. [Extras] フォルダをダブルクリックします。
 - c. **WD SES デバイスドライバ**を選択します。

- d. **「次へ」** をクリックします。



5. インストールが完了したら、**「完了」** をクリックします。



Windows Vista にインストールする

p. 6 の図 3 に示すように、ドライブを接続すると、[新しいハードウェアの検出] 画面が表示されます。

ご注意： 自動再生が有効になっている場合、[新しいハードウェアの検出] 画面と同時に 2 つの追加の画面が表示される場合があります。表示された場合は、これらの画面は閉じてください。

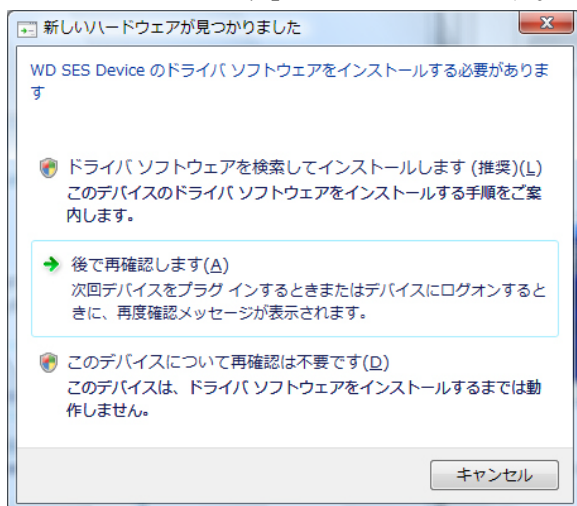
[新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面を使用して、以下のいずれかの方法で SES ドライバをインストールできます。

- コンピュータがインターネットに接続されている場合は自動的にインストール
- コンピュータがインターネットに接続されているかどうかに関係なく、手動でインストール

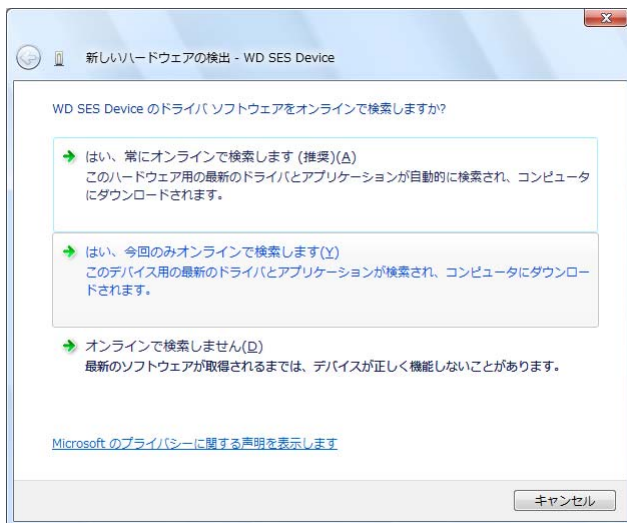
ドライバを自動的にインストール

SES ドライバを自動的にインストールするには、コンピュータをインターネットに接続する必要があります。

1. コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。
2. [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、[ドライバソフトウェアを検索してインストールします] をクリックします。



3. [新しいハードウェアの検出 – WD SES] 画面で、**[はい、今回のみオンラインで検索します]**をクリックし、Windows VistaがWindows Updateに接続できるようにします。



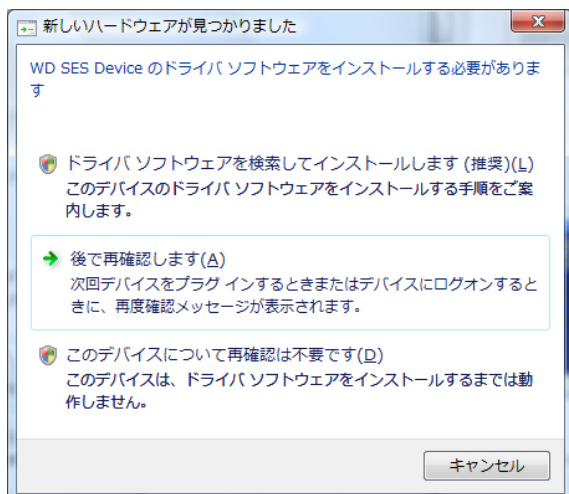
Windows Vista は自動的に以下を行います。

- Windows Update に接続
- SES ドライバを検出、ダウンロード、およびインストール

ドライバを手動でインストール

コンピュータがインターネットに接続していない場合は、ドライバを手動でインストールできます。

1. [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面で、[ドライバソフトウェアを検索してインストールします] をクリックします。

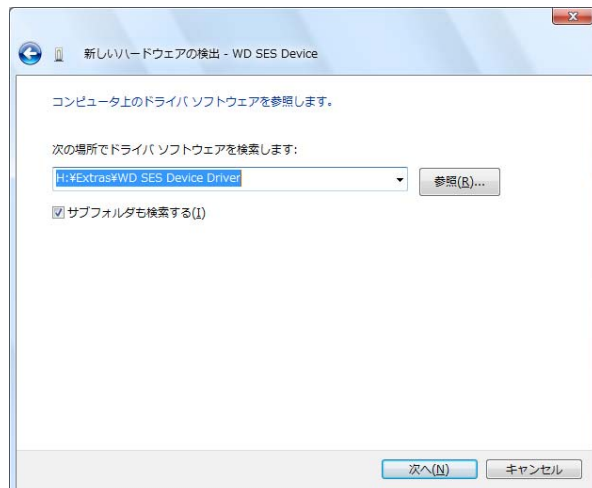


2. [新しいハードウェアの検出画面 - WD SES] 画面で、[いいえ、今回は接続しません] を選択します。
3. インストールの際、**WD SES** デバイスに付属のディスクを挿入するように促された場合、[ディスクはありません] をクリックします。[他の方法を試します] オプションをクリックします。

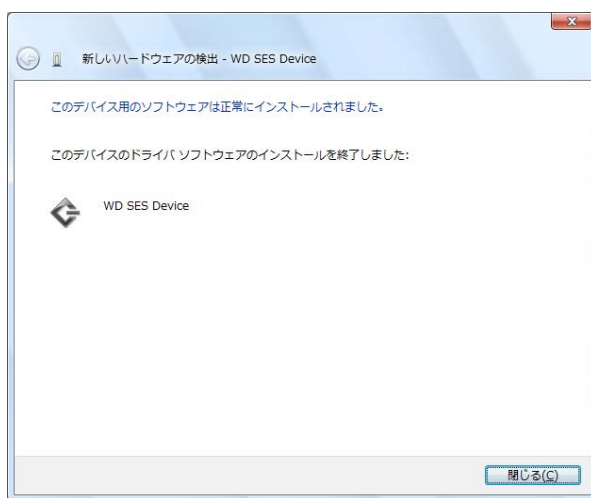


4. [コンピュータ] を参照し、以下の手順を実行します。

- a. My Book ドライブをダブルクリックします。
- b. [Extras] フォルダをダブルクリックします。
- c. **WD SES デバイスドライバ**を選択します。
- d. [次へ] をクリックします。



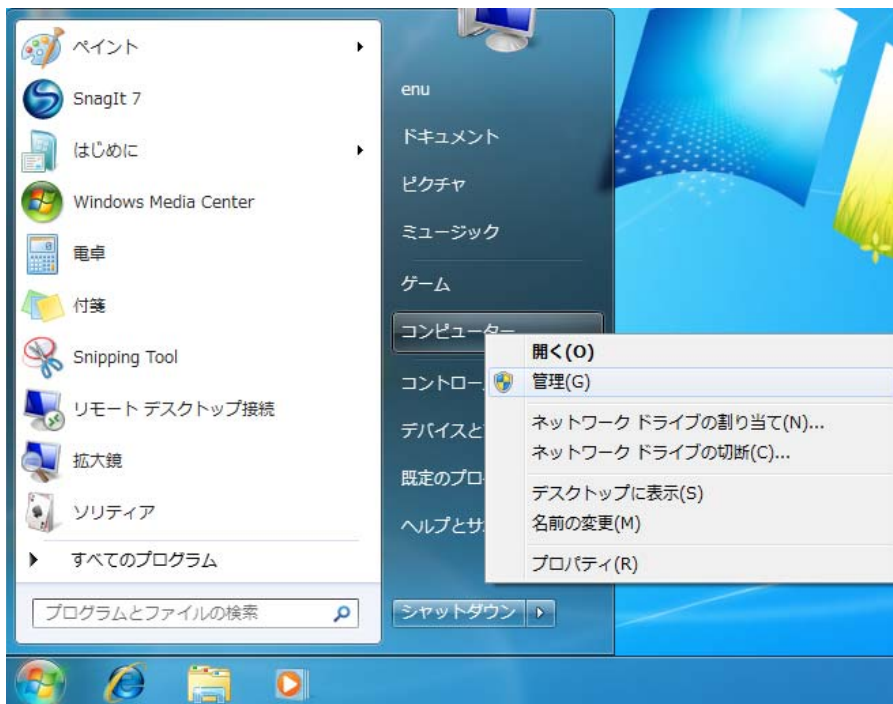
5. インストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。



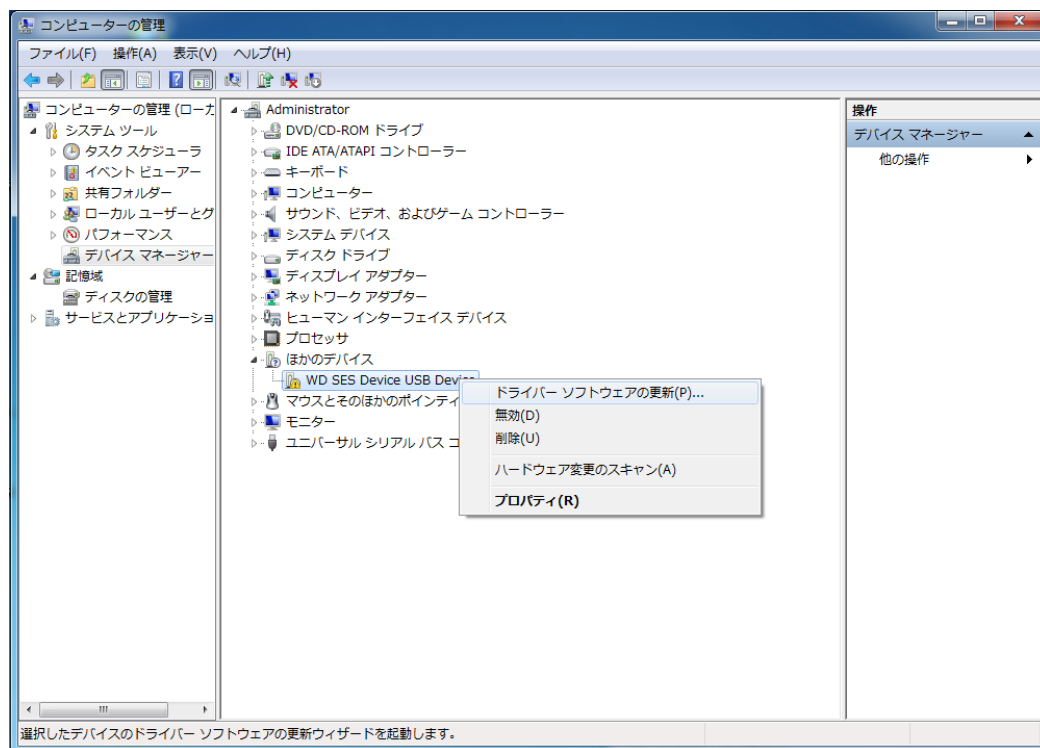
Windows 7 と Windows 8 コンピュータにインストール

p. 6 の図 3 に示すようにドライブを接続した後、Windows Computer Management ユーティリティを使用して SES ドライバをインストールします。

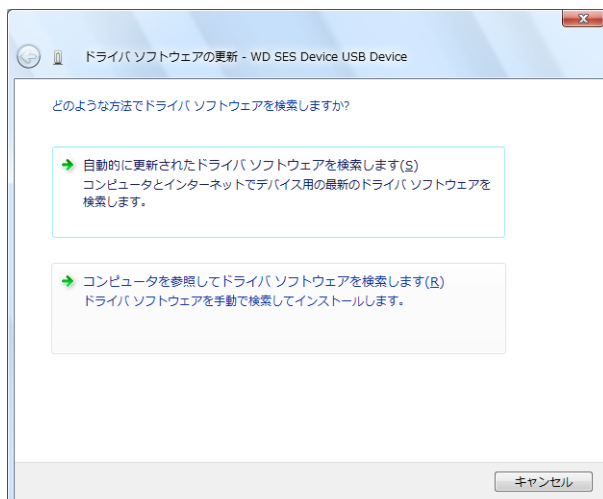
1. [すべてのプログラム] を開いて、[コンピューター] > [管理] をクリックします。



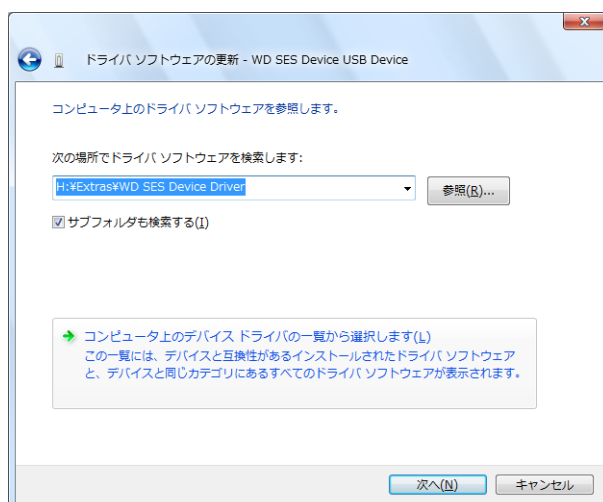
2. [コンピューターの管理 (ローカル)] で、[デバイスマネージャ] > [他のデバイス] をクリックし、[ドライバソフトウェアの更新] を右クリックします。



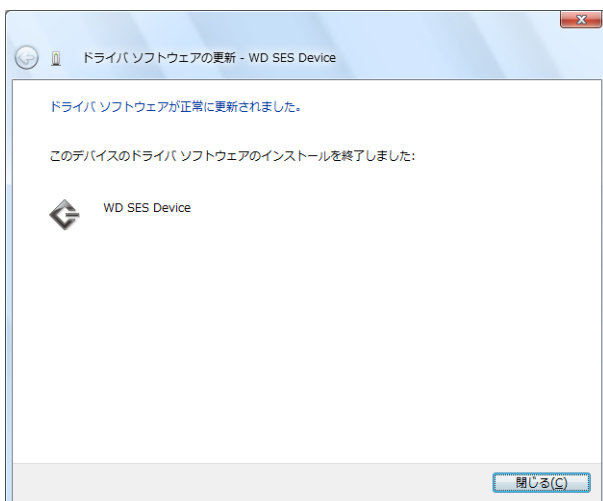
3. [コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します] をクリックします。



4. コンピューターを参照し、My Book ドライブをダブルクリックし、[Extras] フォルダーをダブルクリックし、そして **WD SES デバイスドライバ** を選択します。



5. [次へ] をクリックします。
6. インストールが完了したら、[閉じる]。



B

遵守および保証情報

この章では以下のトピックについて説明します。

規制遵守

環境基準の遵守（中国）

保証情報（オーストラリア / ニュージーランドを除くすべての地域に適用）

保証情報（オーストラリア / ニュージーランドのみに適用）

規制遵守

FCC クラス B 情報

このデバイスは次の条件で動作します。

- このデバイスが有害な干渉の原因となってはならない。
- このデバイスは望ましくない動作の原因となる、受信されるいかなる干渉も受けとらなければならない。

このデバイスは FCC 規定のパート 15 に従い、クラス B デジタルデバイスの制限に対してテストされ、それに適合していることが確認されています。これらの制限事項は、住宅地域での設置において有害な電波障害に対し妥当な予防策を与えるよう設計されています。このデバイスはラジオ周波数エネルギーを発生、使用し、それを放射する可能性があり、そして指示通りに取り付けられ、使われない場合、ラジオ、テレビまたは通信の受信に対して、有害な干渉の原因となることがあります。しかしながら、特定の設置条件で干渉が起きないという保証はありません。機器を断続的にオン/オフすることによって、ラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼした場合は、次の複数の手段によって干渉を修正することが推奨されます。

- 受信アンテナの方向を変えたり、配置を変える。
- 機器と受信機の距離を大きくする。
- 受信機が接続されているコンセントとは異なる回線のコンセントへ機器を接続する。
- ご質問がある場合は、販売店または熟練したラジオ / テレビ技術者にご相談ください。

WD が明示的に承認していない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

ICES-003/NMB-003 宣言

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme ICES-003 du Canada.

このデバイスは Canadian ICES-003 クラス B に準拠しています。

安全準拠

アメリカおよびカナダで承認済み。CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1, UL 60950-1: 情報技術機器の安全性。

Approuvé pour les Etats-Unis et le Canada. CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1, UL 60950-1 : Sureté d'équipement de technologie de l'information.

ヨーロッパ CE 遵守

CE マークが表示されている場合、このシステムが、EMC 指令 (2004/108/EC)、および低電圧指令 (2006/95/EC) など、適用 EU 理事会指令に準拠していることを示します。適用指令に基づく「準拠の EU 宣言」は、Western Digital Europe によって作成され、保管されています。

KC 告知（韓国のみ）

기종별	사용자 안내문
B 급기기 (가정용방송통신기자재)	이기는가정용 (B 급) 전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을 목적으로 하며, 모든 지역에 사용할 수 있습니다

環境基準の遵守（中国）

部件名称	有毒有害物质或元素 产品中有毒有害物质或元素的名称及含量					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价 铬 (Cr (VI))	多溴化联 (二) 苯 (PBB)	多溴化 二苯醚 (PBDE)
減震架(4)	○	○	○	○	○	○
減震器(4 pcs)	○	○	○	○	○	○
脚垫(4 pcs)	○	○	○	○	○	○
带镜头的上盖	○	○	○	○	○	○
底盖	○	○	○	○	○	○
PCBA	○	○	○	○	○	○
硬盘驱动器	X	○	○	○	○	○
微型 USB 电缆	○	○	○	○	○	○
EMI 底盖	○	○	○	○	○	○
聚酯薄膜	○	○	○	○	○	○

O: 表示有毒有害物质在该部件的所有均质材料中的含量均低于
SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。
X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出
SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。
(在此表中, 企业可能需要根据实际情况对标记“X”的项目进行进一步的技术性解释。)

保証情報（オーストラリア / ニュージーランドを除くすべての地域に適用）

サービスを受けるには

WD は、お客様のビジネスを大切に、常に最高のサービスの提供に努めております。この製品に保守が必要な場合は、製品を最初に購入なさった代理店に連絡するか、または弊社のサポートウェブサイトである <http://support.wd.com/warranty/policy.asp> をご覧になり、サービスを受ける方法または返品許可 (RMA) について詳細をお調べください。製品に欠陥があると確認された場合、RMA 番号が出され、製品を返品する手順が通知されます。許可されていない返却（つまり RMA 番号が発行されていないもの）は、お客様負担でそちらに返送されます。許可された返却は、承認された発送用コンテナに入れられ、前払いで保険を掛け、返却書類に示されている住所に宛ててください。元の箱および梱包素材は WD 製品を保存あるいは発送するために保管しておいてください。保証期間を確定するために、<http://support.wd.com/warranty/policy.asp> で保証の有効期限をお調べください（シリアル番号が必要です）。WD は、いかなる理由においても、損失したデータ、損失したデータの回復、あるいは製品に含まれていたデータについて責任を負いません。

限定保証

WD は、通常の使用に供された場合、以下に規定する期間内、材質においても仕上がり状態においても本製品に欠陥が生じないこと、また本製品が WD の仕様に合致するものであることを保証します。WD 製品をお買い求めになった国によって保証期間が異なります。限定保証の期間は、法律で義務けられている場合を除き、北米と中南米では 3 年間、ヨーロッパ、中東、アフリカでは 3 年間、アジア太平洋地域では 3 年間となっています。お客様の製品保証期間は、正規販売店または正規再販業者の領収書に記載された購入日より開始します。製品が WD から盗取されたものであると断定された場合、または次の場合、WD は責任を負いません。当該故障が a) 存在しない場合、b) WD が製品を受け取る前に生じた損傷のために適切に修正できない場合、または c) 不正な使用、不適切な取り付け、改変（ラベルの取り外しまたは消滅および外部エンクロージャの開封または取り外しを含むただし、制限されたユーザーサービス可能製品リストに製品がある場合、および特定の改変が <http://support.wd.com/warranty/policy.asp> にある該当手順の範囲内にある場合は除く）が行われたか、または WD 以外の者による事故または不注意な取り扱いの場合。前述の制限事項によって異なりますが、前述の保証期間内における WD の判断による製品の品の修理または交換が、お客様の唯一かつ排他的な保証となります。

前記の限定保証が WD の唯一の保証であり、新品として販売された製品にのみ適用されます。ここで提供される救済は、明示、黙示または法定かを問わず、a) 市販性、特定の目的との適合性に関する黙示の保証を含む（ただし必ずしもこれらに限らない）他のすべての救済と保証に取って代わるのであり、b) この製品の購入、使用、性能との関連から生じた、偶発的、派生的、または特別な損害、財務的な損失、利益の喪失、データの喪失（ただし必ずしもこれらに限らない）に対して一切責任を負いません。これは、WD が、あらかじめそのような損害が生じる可能性を知らされていた場合でも同様です。アメリカのいくつかの州では付随的または結果として生じる損害の制限を許容せず、そのために上記の制限がお客様に適用されない場合があります。この保証はお客様に特定の法的権利を与えますが、お客様には州ごとに異なるその他の権利があるかもしれません。

保証情報（オーストラリア / ニュージーランドのみに適用）

本製品保証のいずれの事項も、オーストラリア競争・消費者法またはニュージーランド消費者保証法に基づくお客様の法的権利を変更したり排除したりするものではありません。本製品保証には、製品保証の請求を解決するために WD が最も推奨する方法が記載されています。それは全当事者にとって迅速かつ簡便な方法となると考えられます。

本製品に関しては、法律上明示的か黙示的かを問わず、本製品保証以外にいかなる保証（商品販売法記載の保証を含みますが、これらに限定されせん）も適用されません。お客様がニュージーランドで業務のために本製品を購入した場合、ニュージーランド消費者保証法の適用外であることを認めこれに同意したことになります。オーストラリアでは、オーストラリア消費者法で排除し得ない保証が当社製品に適用されます。お客様は、重大な瑕疵については交換もしくは返金を、また、その他合理的に予測可能な損失もしくは損害に対しては補償を、それぞれ求める権利があります。また、商品が合格品質に達していないが、その欠陥が重大な瑕疵には相当しない場合、お客様はその商品を修理もしくは交換させることができます。主たる欠陥を構成する事項についてはオーストラリア消費者法に定めるものとします。

サービスを受けるには

WD は、お客様のビジネスを大切に、常に最高のサービスの提供に努めております。万が一本製品に問題が発生した場合は、返品される前に弊社でお問い合わせをお願い致します。テクニカルサポートに関するご質問の多くは、弊社のナレッジベースまたはメールでのサポートサービス (<http://support.wd.com>) でお答えすることができます。回答が得られない場合、またご希望によっては、本冊子冒頭に記載された電話番号で WD にお問い合わせください。

製品保証を求める場合は、本製品の購入先である販売業者にまずご連絡ください。当該販売業者と連絡が取れない場合は、弊社のサポートウェブサイトである <http://support.wd.com> をご覧になり、サービスを受ける方法または返品許可 (RMA) について詳細をお調べください。製品に欠陥があると確認された場合、RMA 番号が出され、製品を返品する手順が通知されます。許可されていない返却 (つまり RMA 番号が発行されていないもの) は、お客様負担でそちらに返送されます。許可された返却は、指定どおりの梱包で、前払いで保険を掛け、お客様の RMA 番号とともに提供される住所に宛ててください。本製品保証について、お客様より適正な請求を受領後、WD または本製品購入先の販売業者が、お客様の請求が有効であると判断した場合、WD または当該業者はの裁量により、本製品を修理するか、同等もしくはより良い製品と交換するか、もしくは本製品の代金をお客様にお返しします。本製品保証に基づく請求に係る一切の費用はお客様の負担となります。本製品保証によりお客様に提供される便宜は、オーストラリア競争・消費者法またはニュージーランド消費者保証法に基づきお客様が求めることができるその他の権利および救済方法に追加されるものです。

元の箱および梱包素材は WD 製品を保存あるいは発送するために保管しておいてください。保証期間を確定するために、<http://support.wd.com> で保証の有効期限をお確かめください (シリアル番号が必要です)。

Western Digital Technologies, Inc.
3355 Michelson Drive, Suite 100
Irvine, California 92612
メール : support@wd.com

製品保証

WD は、通常の使用に供された場合、以下に規定する期間内、材質においても仕上がり状態においても本製品に欠陥が生じないこと、また本製品が WD の仕様と合致するものであることを保証します。法律に別段の規定がある場合を除き、オーストラリアおよびニュージーランドにおけるお客様の品保証期間は 3 年間です。お客様の製品保証期間は、正規販売店または正規再販業者の領収書に記載された購入日より開始します。本製品保証の用を受け、本製品保証の開始日を確定するには、購入を証明するものが必要です。製品保証サービスは、本製品が、正規販売店、正規再販業者または WD による当初の本製品出荷先である地域 WD 返品センターに返品されて初めて提供されます。WD は、自由裁量により購入に関する保障延長サービスを提供する場合があります。WD は、本製品が以下に該当すると判断した場合、返品された本製品についていかなる責も負わないものとし、(i) 本製品が正規販売店または正規再販業者から購入した商品でない場合、(ii) WD の仕様や指示にしたがって使用しなかった場合、(iii) 想定外の目のために使用した場合、もしくは (iv) 製品が WD から盗まれたものであると WD が断定した場合、または主張された欠陥が a) 実際にはない場合、b) WD が製品を受け取る前に生じた損傷のために、適切に修正できない場合、または c) 不正な使用、不適切な取り付け、改造 (これには挿入枠を含むラベルの取り外しや消去および外部エンクロージャの開封または取り外

しが含まれます。製品が限定ユーザーサービス可能な製品リストにある場合、かつ特定の改変が該当マニュアル (<http://support.wd.com> 掲載) の許容範囲内である場合は除きます) が行われたか、事故または WD 以外の者による不注意な取り扱いが行われた場合。

製品は複雑で壊れやすいものであり、(A) 誤った取扱い、高温、低温、湿気への曝露、停電等 (ただしこれらに限定されません。) の外的要因、または (B) 内部の瑕疵により、誤作動することがあります。このような誤作動により、データの損失、破損、抹消または改変が生じることがあります。原因のいかんを問わず、データの損失、破損、抹消もしくは改変に対する、また [かかる] 損失、破損、抹消もしくは改変に備えるためのデータ・バックアップおよび保護対策に対する責任は、お客様が負うものとします。WD の一般的なサービスおよびテクニカルサポートをご利用になる場合、お客様が製品上のすべてのデータを継続的にバックアップし、事前にバックアップを完了しておくことに同意します。

オーストラリアでは、本製品が個人、家庭もしくは家事での使用または消費を目的として通常取得されたものではない場合、WD は、本製品を交換、または同等もしくはより良い本製品を提供する責任に関し、公正かつ合理的な範囲で制限を設けております。

修理または交換した本製品の製品保証期間は、当初保証の残余期間、または修理・交換製品出荷日から 90 日間のうち、いずれか長い方まで延長されます。前記の製品保証が WD の唯一の保証であり、新品として販売された製品のみに適用されます。

GNU 一般公衆利用許諾契約書 (GPL)

本製品に組み込まれたファームウェアには、Western Digital のエンドユーザー使用許諾契約ではなく、GPL または劣等一般公衆利用許諾契約書 (「LGPL」) (総称して「GPL ソフトウェア」) で許諾されたサードパーティ著作権付きソフトウェアが含まれている場合があります。GPL に従い、該当する場合: 1) GPL ソフトウェアのソースコードは、<http://support.wd.com/download/gpl> から無料でダウンロードできます。または、<http://support.wd.com/download/gpl> から、あるいは購入された日から 3 年以内にカスタマーサポートに連絡することによって CD を通常価格で入手可能です。2) GPL ソフトウェアは再使用再頒布および、改変が可能です。3) GPL ソフトウェアに関しては、適用される法律によって許容される範囲となり、保証はありません。また、4) GPL のコピーは、<http://www.gnu.org>、および <http://support.wd.com/download/gpl> から入手できる場合があります。

オープンソースソフトウェアを含むがこれに限定されないソフトウェアの変更または改ざんは、もっぱらお客様ご自身のリスクで実行されるものとします。Western Digital は、そのようないかなる変更あるいは改ざんにも責任を負いません。Western Digital は、Western Digital によって提供されたソフトウェアを変更したりあるいは変更を試みたりした製品のサポートは行いません。

索引

A

Acronis True Image WD Edition ソフトウェア 1, 2
ソフトウェアのダウンロード 1, 2
ユーザーガイドのダウンロード 1, 2

D

[Dropbox アカウント] ボタン 32, 70
[Dropbox ログイン必須] ダイアログ 70

F

FCC クラス B 情報 84

G

GNU 一般公衆利用許諾契約書 88
GPL ソフトウェア 88

I

ICES/NMB-003 遵守 84

S

SMART ステータスチェック 62

U

USB インターフェース 4

W

WD
サービス 85, 87
ストアリンク 34
WD Quick View アイコン 59
[WD SmartWare Pro へのアップグレード]
画面 10
WD SmartWare をアンインストールして
います
Windows から 71
WD SmartWare ソフトウェア
オペレーティングシステムの互換性 3
機能概要 18
[設定] 画面 19, 32
[設定] 画面を参照
[バックアップ] 画面 18, 27
[バックアップ] 画面を参照
[復元] 画面 18, 30
[復元] 画面を参照
[ヘルプ] 画面 19, 33
[ヘルプ] 画面を参照
[ホーム] 画面 18, 19
[ホーム] 画面を参照
WD SmartWare ソフトウェアを起動 59
WD SmartWare ソフトウェアを開く 59
WD SmartWare ソフトウェアの起動 59
WD セキュリティソフトウェア

画面 10

[セキュリティ設定] ダイアログ 10, 52
[セキュリティ変更] ダイアログ 57, 58

WD ソフトウェアセットアップウィザード 7

WD ソフトウェアのアンインストール 71

WD ドライブユーティリティ

[診断情報] ダイアログ 63

[スリープタイマー] ダイアログ 61

[登録] ダイアログ 62

[ドライブの消去] ダイアログ 64

画面 9

[診断情報] ダイアログ 63

[スリープタイマー] ダイアログ 61

[登録] ダイアログ 62

[ドライブの消去] ダイアログ 64

Windows

WD SmartWare のアンインストール 71

WD ソフトウェアのアンインストール 71

Z

参照ボタン、31

復元フォルダボックスの変更、31

あ

アイコン

Dropbox 21

WD Quick View 59

アクティベーションコード必須 21

アラート、点滅 60

書き込み可能パーティションなし 26

コンピューター 20, 21

デバイスロック 25

バックアップターゲットデバイス 20

無料お試しカウントダウン 25

ログイン資格情報必須 26

アイコンの点滅アラート 60

アクセサリ、オプション 3

アクティベーションコード必須アイコン 21

アラート、アイコンの点滅 60

安全準拠 84

い

[一部のファイルを復元] 選択ボックス 31

お

お問い合わせ先リンク 33

オプションのアクセサリ 3

オペレーティングシステムとの互換性 3

オペレーティングシステム 3

温度のステータス、WD Quick View アイ

コン 60

オンラインユーザーマニュアルリンク 33

か

書き込み可能パーティションなしアイコン 26
各部の名称と説明 4
簡易ドライブテスト 62
環境基準の遵守、中国 85

き

規制遵守 84

け

検索ボタン、[復元]画面 31
限定保証期間について 86

こ

コンテンツゲージ
バックアップソースデバイス
[ホーム]画面 20
バックアップターゲットデバイス
[ホーム]画面 20
バックアップソースデバイス
[バックアップ]画面 27, 29
[ホーム]画面 22
バックアップターゲットデバイス
[バックアップ]画面 27, 29
[ホーム]画面 23

さ

サービスを受けるには 85, 87
サポートリンク 34
タブ画面 31

し

システムの互換性 3
システムファイルカテゴリ、定義済み 22
遵守、規制 84
初回のバックアップ画面 17
[診断情報]ダイアログ 63

す

スケジュールバックアップ、[バックアップ頻度の選択]画面 14
ステータスチェック 60

せ

製品の特長 1
セキュリティ
[セキュリティ設定]ダイアログ 10, 52
[セキュリティ変更]ダイアログ 57, 58
セキュリティケーブルスロット 4
設定
[スリープタイマー]ダイアログ 61
[バックアップ頻度]ボタン 27, 29, 37
[ファイルの履歴]ダイアログ 68
[復元フォルダ]ダイアログ 69

[設定]画面

[Dropbox アカウント]ボタン 32
機能概要 19
説明 32
[ソフトウェアの更新]ボタン 32
[ファイルの履歴]ボタン 32
[復元フォルダ]ボタン 32

選択

[バックアップ頻度]画面 14, 37
バックアッププラン画面 14

そ

ソフトウェア、GPL 88
ソフトウェア設定
復元フォルダ 68
ファイルの履歴 68
Dropbox アカウント 69
ソフトウェアの更新 69
ソフトウェアディスクイメージの復元 67, 73
ソフトウェアの更新
オプション、設定 69
ボタン 32

ち

注意

ドライブの消去 64
取り外す際のデータの損失について 60
パスワードの紛失について 52
ロック解除されたドライブについて 53, 58

中国 RoHS、環境基準の遵守 85

て

ディスクイメージ、ダウンロードと復元 67, 73
デバイス表示スクロールポインター 25
デバイスロックアイコン 25

と

同梱物 2

ドライブ

接続を外す 60
使用される容量、WD Quick View アイコン 60
診断とステータスチェック 62, 63
ステータスチェック、WD Quick View アイコン 60
スリープタイマー 61
取り扱い上の注意 5
フォーマット、変換する 3
ドライブの再フォーマット 45, 73
ドライブの消去 64

[ドライブの消去] ダイアログ 64
ドライブの接続解除 60
ドライブの登録 61
[ドライブの登録] ダイアログ 62
ドライブのロック解除 53
WDセキュリティ 54, 56
バーチャルCDから 55, 60
ドライブフォーマットの変換 45
取り扱い上の注意 5

は

ハードウェア 2
パスワードによるドライブの保護 52
パスワードの紛失についての注意 52
パスワードの作成 52
バックアップ
画面 27
初回 17
手順 35
ファイルコンテンツボックス 38, 39, 42
ファイルのバックアップについて 35
予定通知ボタン 29

[バックアップ]画面

機能概要 18
説明 19, 27
バックアップ詳細表示領域 27, 28, 29
バックアップソースコンテンツゲージ 29
バックアップターゲットコンテンツゲージ 29
バックアップの有効化/無効化トグルボタン 27, 29
[バックアップ頻度の設定] ボタン 27, 29
[ファイルバックアップに切り替える/カテゴリバックアップに切り替える] トグルボタン 27, 29

バックアップ先

デバイスセクター 25
バックアップ詳細表示領域、[バックアップ]画面 27, 28, 29

バックアップソース

コンテンツゲージ
[バックアップ]画面 27, 29
[ホーム] 22
[ホーム]画面 20

バックアップターゲット

コンテンツゲージ
[バックアップ]画面 27, 29
[ホーム]画面 20, 23
デバイスアイコン、[ホーム]画面 20, 23, 24

[バックアップデバイスの選択]画面 11
バックアップの有効化/無効化トグルボタン 27, 29
バックアップボリューム選択ボックス 31
バックアップ元
Dropbox アイコン 21
コンピューターアイコン 20, 21
セクター 20, 23
デバイスセクター 20, 23
パッケージ同梱物 2

ふ

[ファイルの履歴] ボタン 32
[ファイルバックアップに切り替える/カテゴリバックアップに切り替える] トグルボタン 27, 29
復元

取得先オプションボタン 31
ファイルオプションボタン 31
手順 47
ファイルの復元について 47
フォルダー、指定 68

[復元]画面

[一部のファイルを復元]選択ボックス 31
機能概要 18
検索ボタン 31
説明 30
復元フォルダボックスの変更 31

[復元]タブ画面

バックアップボリューム選択ボックス 31
復元先オプションボタン 31
復元の開始/キャンセルトグルボタン 31

復元ファイルオプションボタン 31

復元の開始/キャンセルトグルボタン 31

[復元フォルダ] ボタン 32

画面 31

復元フォルダボックスの変更、[復元]画面 31
フルメディアスキャン 63

へ

[ヘルプ]画面

WD ストアリンク 34
お問い合わせ先リンク 33
オンラインユーザーマニュアルリンク 33
機能概要 19
サポートリンク 34
説明 33
[ラーニングセンタートピック]ボタン 33

ほ

[ホーム]画面

機能概要 18

説明 19

バックアップソースコンテンツゲ
ージ 22

バックアップソースコンピュータアイ
コン 21

バックアップターゲットコンテンツ
ゲージ 23

バックアップターゲットデバイスアイ
コン 23, 24

保証情報 85, 86, 87

む

無料お試しカウントダウンアイコン 25

ら

[ラーニングセンタートピック]ボタン 33

り

リモート Dropbox アカウント、設定 69

ろ

ログイン必須アイコン 26

WDによって提供された情報は正確で信頼できるものと考えておりますが、その使用、あるいはその使用に起因した特許または第三者のその他の利の侵害に関して WD は一切責任を負いません。WD の特許または特許権のもとで、黙示的またはその他の方法でライセンスが許可されることはあません。WD は仕様を予告なく変更する権利を有します。

Western Digital、WD、WD のロゴ、My Book、および My Passport は、Western Digital Technologies, Inc. の登録商標です。WD SmartWare、WD Drive Utilities、WD Security、および Data Lifeguard は、Western Digital Technologies, Inc. の商標です。Apple、Mac、OS X、および Time Machine は、米国および他の国における Apple, Inc. の登録商標です。本書に記載されている他のマークはその他の企業に属する場合があります。

© 2013 Western Digital Technologies, Inc. All rights reserved.

Western Digital
3355 Michelson Drive, Suite 100
Irvine, California 92612 U.S.A.

4779-705106-R01 2013 年 9 月